

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		文化行政一般事務事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 001		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
	事業	文化行政推進事業		根拠法令 ・要綱等	明石市事務分掌条例、明石市事務分掌規則				
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		2-4 文化芸術の振興			委託		指定管理		
個別計画									
事業 の 目的	対象（誰を・何を）								
	文化行政の一般管理事務及び市職員								
事業 の 目的	意図（どういう状態にしたいのか）								
	文化行政の一般管理事務を円滑に行う。								
事業 内容	<平成24年度> 文化行政の一般管理事務を行う。 <平成25年度> 文化行政の一般管理事務を行う。 <平成26年度> 文化行政の一般管理事務を行う。								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	925	5,926	6,851	0	0	0	6,851	正規	0.40	パート	0.10
25当初予算	1,050	4,410	5,460	0	0	0	5,460	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	805	4,410	5,215	0	0	0	5,215	任期付	0.10	合計	0.60
26当初予算	836	3,720	4,556	0	0	0	4,556				

  

25年度 決算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額	26年度 当初 予算 事業費 明細	区分（節）	内容	金額
		旅費	近接地旅費		15		旅費
	需用費	事務用品、コピー用紙等	236		需用費	事務用品、コピー用紙等	281
	使用料及び賃借料	コピー使用料等	554		使用料及び賃借料	コピー使用料等	500
	合計		805		合計		836

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-001	事務事業名	文化行政一般事務事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
限られた予算の中で、文化行政の一般管理事務を遂行している。引き続き、効果的な事務推進に努める。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	文化芸術創生基本計画推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001000 - 002			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課			
	<b>項</b>	総務管理費		<b>連絡先</b>	(078)918-5607			
	<b>目</b>	文化振興・国際交流費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 19 年度	
	<b>事業</b>	文化行政推進事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他	
<b>個別計画</b>	文化芸術創生基本計画			委託	○	指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市民が文化芸術を鑑賞し、参加し、創造活動に取り組むなど、文化芸術活動が盛んになるための基盤をつくる。
<b>事業内容</b>	<平成24年度>	明石文化芸術創生会議を1回開催。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。
	<平成25年度>	明石文化芸術創生会議を2回開催。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。
	<平成26年度>	明石文化芸術創生会議を開催予定(3回開催予定)。 実施計画(アクションプラン)の策定及び同計画に基づく事業の実施。 基本計画及び実施計画(アクションプラン)の進捗管理、評価・検証。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	1,791	6,384	8,175	0	0	0	8,175	正規	0.40	パート	0.00
25当初予算	3,484	6,640	10,124	0	0	0	10,124	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	3,071	6,640	9,711	0	0	0	9,711	任期付	0.00	合計	0.40
26当初予算	3,383	3,280	6,663	0	0	0	6,663				

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	文化芸術創生会議委員報酬	158		297	報酬	文化芸術創生会議委員報酬
報償費	アーティスト派遣謝礼	828	130	報償費	指導謝礼	130	
旅費	文化芸術創生会議出張旅費	14	105	需用費	用紙代・消耗品等	105	
需用費	会議用お茶代	3	130	役務費	文化芸術創生会議等音声反訳	130	
役務費	文化芸術創生会議音声反訳	68	2,700	委託料	基本計画に基づく事業委託料	2,700	
委託料	アートフルウィーク開催委託	2,000	21	使用料及び賃借料	会議室使用料	21	
<b>合計</b>			3,071	<b>合計</b>			3,383

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-002	事務事業名	文化芸術創生基本計画推進事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
明石文化芸術創生基本計画に基づく、実施計画を作成し、文化の息づくまちづくりを推進するために具体的な事業を展開している。						

事業の評価・今後の方向性	<b>観点</b> （満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
					×	
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
文化芸術創生基本計画推進事業については、明石文化芸術創生基本計画やアクションプランに基づいて実施するもので、第3者機関である明石文化芸術創生会議にて評価・検証を行っている。有効性や効率性を常に念頭に置き、「今すべき事業」「推進しなければならない事業」を精査し、スクラップアンドビルドを徹底して事業実施しており、当事業の内容は今必要と判断しているものばかりである。今後も、明石文化芸術創生会議からの提言を踏まえ、スクラップアンドビルドに努め、費用削減について検討する。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-003	事務事業名	芸術祭等開催事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果						
<b>指標で表せない成果</b>						
芸術祭をより充実させることによって市民の芸術にふれる機会をふやし、市民の生活に潤いをあたえている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×	×		
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
芸術祭は、各文化団体の日頃の活動の発表の場を提供するとともに参加や鑑賞することで文化意識の向上を図ることが出来る必要性が高い事業である。また、平成23年度から「いけばな展」については“こども体験教室”、「茶会」については“親子茶道体験”を実施。24年度から「美術展」については“ジュニアの部”を創設、「音楽のつどい」については中学校まで出演者の枠を広げるなど、こども達が発表できる場を提供している。今後もこども達の文化芸術への参加を促進するとともに、各事業内容や予算等を精査しながら費用削減について検討する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	文芸祭開催事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001000 - 004			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	事業の分割/統合の内容					
	<b>款</b>	総務費						
	<b>項</b>	総務管理費						
	<b>目</b>	文化振興・国際交流費						
	<b>事業</b>	文化芸術振興事業						
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課				
	2-4 文化芸術の振興		<b>連絡先</b>	(078)918-5607				
<b>個別計画</b>	文化芸術創生基本計画		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 49 年度		
			<b>根拠法令・要綱等</b>	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
<b>実施方法</b>			直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他	<input type="checkbox"/>
			委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市民の文芸に対する関心と認識を深め、創作意欲の向上や創作活動へのきっかけづくりを図るとともに、文芸作品の発表の機会を提供する。

<b>事業内容</b>	<b>＜平成24年度＞</b>	自由作品（俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門）を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。 また優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。応募作品数の多い俳句、川柳、短歌のジュニアの部（中学生以下）については、これまでの佳作にかわって“ジュニア奨励賞”を設け、「ことのはものがたり」に入れ込み作品集の充実を図った。 応募作品数 6,267点。
	<b>＜平成25年度＞</b>	例年の自由作品（俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門）に加え、「わがふるさと」についても募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。 また優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。第40回を記念し、作品集、表彰式のさらなる充実を図った。 応募作品数 7,803点。
	<b>＜平成26年度＞</b>	自由作品（俳句、川柳、短歌、詩、随筆、小説、児童文学の7部門）を募集し、優秀作品を賞するとともに、作品集「ことのはものがたり」を作成。 また優秀作品を市ホームページに掲載し広く市民に公表。作品集、表彰式のさらなる充実を図る。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	1,920	3,490	5,410	0	0	457	4,953	正規	0.40	パート	0.50
25当初予算	1,940	5,655	7,595	0	0	420	7,175	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	1,920	5,655	7,575	0	0	432	7,143	任期付	0.15	合計	1.05
26当初予算	1,940	4,570	6,510	0	0	420	6,090				

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	委託料	文芸祭開催委託	1,920		26	旅費	事務協議
				委託料	文芸祭開催委託	1,920	
	<b>合計</b>		1,920		<b>合計</b>		1,940

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-004	事務事業名	文芸祭開催事業
------	----------------	-------	---------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	応募人数	作品の応募人数(一般・ジュニア含む)	人	3,601	3,650	
	<b>指標で表せない成果</b>					
文芸祭の実施により、市民及び子供たちの文芸に対する関心と認識を深め文芸作品の市民の文化意識の一層の向上をはかる。一般については日頃の発表の場となる。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性				×	×	
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
「文芸祭」は“文化の息づく街づくり”の一環として文芸に対する関心を深め創作のきっかけづくりとなっている。平成24年度から、一部データでの応募可能にするなど応募要項の改善を図るとともに、ジュニアの部については新たに“ジュニア奨励賞”を設け子ども達の文芸の励みになるよう実施している。今後もさらなる検討を重ね、費用削減について検討する。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-005	事務事業名	街角イベント推進事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果						
<b>指標で表せない成果</b>						
ホール施設以外のまちかど等で市民が気軽に音楽に触れ親しむ機会を提供できている。また、芸術活動を行おうとする市民に発表の場を提供している。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<p>街角イベントの経費は、「あかしふれあいコンサート」にかかる費用が大半を占める。「あかしふれあいコンサート」等の街角イベントは、市民生活に密着した場所で市民が気軽に文化芸術に出会い関わることのできる機会を提供し、賑わいのあるまちづくりにも貢献している。「あかしふれあいコンサート」の出演者は、市内の中学・高校の吹奏楽部が中心で、子どもたちが日頃の練習成果を発表する貴重な機会ともなっている。</p> <p>平成25年度に「たこたこジャズフェスティバル」と「明石音楽祭」については、入場料・出演料を徴収し自主財源化することで、明石文化芸術創生財団による自主事業化への転換を図ったところである。</p> <p>今後は、事業の適正化の維持に努めていく。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演			新規/継続	H26新規	整理番号	0130001000 - 006		
				分割/統合					
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 18 年度		
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他	
	2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	文化芸術創生基本計画								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	「音楽のあふれるまちづくり」をさらに推進し、市民に質の高い音楽の鑑賞機会を提供する。

<b>事業内容</b>	<平成24年度>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演</li> <li>・あわせて、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 4月18日(水)市民会館大ホールで公演。 同日に花園小学校で特別授業を実施。</li> </ul>
	<平成26年度>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界的に有名な佐渡裕氏指揮による兵庫芸術文化センター管弦楽団による音楽公演</li> <li>・あわせて、子どもたちに音楽の楽しさを伝えるため、佐渡裕氏が小学校を訪問し音楽指導を実施。 4月28日(月)市民会館大ホールで公演。 同日に松が丘小学校で特別授業を実施。</li> </ul>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	4,887	3,350	8,237	0	0	3,290	4,947	正規	0.25	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	0	0	0	0	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	0	0	0	0	0	0	0	任期付	0.05	合計	0.30
26当初予算	5,767	2,180	7,947	0	0	3,292	4,655				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
					報償費	託児謝礼	10
					需用費	公演パンフレット印刷代、出演者ケータリング	90
					役務費	舞台人件費、チケット販売手数料、託児保険料	601
					委託料	出演料、警備委託料	4,616
					使用料及び賃借料	会場使用料、付属設備使用料、空調使用料	450
	合計		0		合計		5,767

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-006	事務事業名	佐渡裕指揮 兵庫芸術文化センター管弦楽団公演
------	----------------	-------	------------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名	財団支援事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 007		
			分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容					
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度		
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令 ・要綱等					
施策分野	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	実施方法			直営	補助・助成	○	その他
個別計画			委託	○	指定管理			

事業 の 目的	対象（誰を・何を）	明石文化芸術創生財団
	意図（どういう状態にしたいのか）	文化の息づくまちづくりを推進するため、市の文化芸術全般にわたる業務を担う明石文化芸術創生財団に対して支援を行う。
	事業内容	<平成24年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。  <平成25年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。  <平成26年度> 明石文化芸術創生財団の運営補助を行う。 中間支援組織活動を委託する。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	15,210	2,100	17,310	0	0	0	17,310				
25当初予算	16,460	3,735	20,195	0	0	0	20,195	正規	0.30	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25決算	16,460	3,735	20,195	0	0	0	20,195	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	19,854	2,460	22,314	0	0	0	22,314	任期付	0.00	合計	0.30

  

25 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	26 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額
		委託料	中間支援組織活動委託		300		委託料
	負担金補助及び交付金	財団運営補助金	16,160		負担金補助及び交付金	財団運営補助金	19,511
	合計		16,460		合計		19,854

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-007	事務事業名	財団支援事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果						
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>明石文化芸術創生基本計画においては、重点施策として「コーディネート機能を持つ中間支援組織の設置」を掲げている。明石文化芸術創生財団が、中間支援組織としての役割を果たすことで、市民全体の文化芸術振興の基盤づくりを行い、「文化の息づくまちあかし」の実現に資する効果は高いと認められる。</p> <p>今後は、財団が行う事業についての協議を深め、①市民交響楽団運営事業については、市民交響楽団が主体的に運営できるよう検討、②中間支援組織としての機能が十分果たせるよう連携しながら支援、を継続していく。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	文化芸術子どもクラブ開催事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001000 - 008				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費							
	<b>項</b>	総務管理費	<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課					
	<b>目</b>	文化振興・国際交流費	<b>連絡先</b>	(078)918-5607					
	<b>事業</b>	文化芸術振興事業	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 22 年度			
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		<b>根拠法令・要綱等</b>	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
<b>個別計画</b>	文化芸術創生基本計画		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
			委託		指定管理				

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	子ども
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	次代を担う子どもたちが文化芸術に対する関心や理解を深め、豊かな人間性を育むことを目的とする。
<b>事業内容</b>	参加対象者：小学生から高校生まで(原則) 対象団体：社団、財団、NPO法人など ※ 年度内に初心者5人以上含む10人以上の参加者で5回以上の活動を市内の公的施設で開催することを原則とする。	
	<p>&lt;平成24年度&gt; 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術子どもクラブの開催について、募集。 審査の結果、キッズダンス、デッサン、陶芸、即興演劇、リコーダークラブ、紙芝居の6団体に対し、助成を決定し、文化芸術子どもクラブを順次開催。 初心者を含む子どもたち141名が参加した。</p> <p>&lt;平成25年度&gt; 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術子どもクラブの開催について、募集。 審査の結果、キッズダンス、デッサン、陶芸、ロボット作りの4団体に対し、助成を決定し、文化芸術子どもクラブを順次開催。 初心者を含む子どもたち92名が参加した。</p> <p>&lt;平成26年度&gt; 音楽、洋舞踊、演劇、美術、文学等を対象分野とする文化芸術子どもクラブの開催について、助成を行う。</p>	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	959	2,520	3,479	0	0	0	3,479	正規	0.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	2,048	2,075	4,123	0	0	0	4,123	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	545	2,075	2,620	0	0	0	2,620	任期付	0.00	合計	0.20
26当初予算	1,548	1,640	3,188	0	0	0	3,188				

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	図書カード			10	報償費	選考委員謝礼
使用料及び賃借料	会場使用料		3	需用費	募集要項用色上質紙		11
負担金補助及び交付金	文化芸術子どもクラブ開催事業補助金		532	使用料及び賃借料	会場使用料		14
				負担金補助及び交付金	文化芸術子どもクラブ開催事業補助金		1,500
	<b>合計</b>		<b>545</b>		<b>合計</b>		<b>1,548</b>

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-008	事務事業名	文化芸術こどもクラブ開催事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	子どもの参加人数	こどもクラブに参加申込みした人数	人	141	150	
	<b>指標で表せない成果</b>					
こどもたちの文化芸術活動の参加・体験活動の場を提供している。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性				×		
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<p>こどもクラブの開催については、文化団体等が自発的にこどもの文化芸術活動の支援を行う仕組みを作り、こどもたちの文化芸術活動の促進を図っている。しかも、平成23年度からは助成制度の見直しを行い、助成金の中で大きな割合を占めていた謝金を助成対象外としている。主旨に賛同してもらった団体等の協力を得ながら、限られた助成金の中で少しでも多くこどもたちに様々な体験の場を提供できるよう努めており、費用対効果も高いものである。</p> <p>今後も、費用削減について検討していく。</p>						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-009	事務事業名	市民交響楽団支援事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	アウトリーチ活動の回数	定期演奏会のほかに市民にどれだけ鑑賞の機会を提供できているか。	回	24	25	
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×		×	×	
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>「音楽のあふれるまちづくり」推進のため、市民交響楽団はシンボリック的存在となっており、音楽文化のすそ野の拡大や市民の芸術鑑賞機会の拡充にも貢献している。</p> <p>市民交響楽団の事務局を担っている明石文化芸術創生財団と協議を進め、運営のあり方を検討し、市民交響楽団自身が主体的に運営できるよう方向性を定めていく。これまでも補助金を段階的に削減しているが、今後も自主運営化の取り組みと合わせて費用削減していく。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	明石将棋フェスティバル開催事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001000 - 010		
		<b>分割/統合</b>					
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>				
	<b>款</b>	総務費					
	<b>項</b>	総務管理費					
	<b>目</b>	文化振興・国際交流費					
	<b>事業</b>	文化芸術振興事業					
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野	<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課				
	2-4 文化芸術の振興		<b>連絡先</b>	(078)918-5607			
<b>個別計画</b>	文化芸術創生基本計画	<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	平成 17 年度	
			<b>根拠法令・要綱等</b>	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例			
<b>実施方法</b>	直営	○		<b>補助・助成</b>		<b>その他</b>	
	委託	○	<b>指定管理</b>				

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	伝統文化である将棋に親しむとともに、豊かな人間性を身につける機会を提供する。

<b>事業内容</b>	<平成24年度>	2月9日(土)小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会を生涯学習センターで開催。 2月10日(日)プロ棋士による指導対局、ホールプログラムとして明石市長杯青少年将棋大会有段者クラス優勝者の表彰とプロ棋士との記念対局、プロ棋士の公開対局を開催。 プレイベントとして12月に親子将棋入門教室を開催し、参加者を本番の青少年将棋大会へ招待する。
	<平成25年度>	・青少年将棋大会、プロ棋士による指導対局については、明石文化芸術創生財団に移管して実施。(参加費有料) ・ホールプログラムは明石文化芸術創生財団に委託して開催。(参加費無料) 2月8日(土)小・中学生を対象とする明石市長杯青少年将棋大会を生涯学習センターで開催。 2月9日(日)女流棋士による指導対局、ホールプログラムとして明石市長杯青少年将棋大会有段者クラス優勝者の表彰と女流棋士との記念対局、詰将棋早解き大会、女流記念対局を開催。 ・親子将棋入門教室については、明石文化芸術創生財団に移管し、夏休み、春休みに期間に実施した。
	<平成26年度>	・青少年将棋大会、プロ棋士による指導対局については、明石文化芸術創生財団に移管して実施予定。 ・ホールプログラムは明石文化芸術創生財団に委託して開催予定。 内容、開催日 未定。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	1,366	2,070	3,436	0	0	0	3,436	正規	0.25	パート	0.05
25当初予算	500	2,490	2,990	0	0	0	2,990	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	500	2,490	2,990	0	0	0	2,990	任期付	0.05	合計	0.35
26当初予算	700	2,270	2,970	0	0	0	2,970				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	委託料	将棋フェスティバル開催委託	500		委託料	将棋フェスティバル開催委託	700
	合計		500		合計		700

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-010	事務事業名	明石将棋フェスティバル開催事業
------	----------------	-------	-----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	参加申込み	参加申込み人数	人	506	450	
	<b>指標で表せない成果</b>					
将棋を通じ、社会の基本的なルールや思いやり、礼儀を学ぶとともに伝統文化に触れる機会を提供している。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性		×				
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
将棋は、次代を担う子ども達の育成に役立つ有意義な事業であり、平成23年には現役高校生のプロ棋士が明石市に誕生し市民の関心を寄せている。平成25年度は、「青少年将棋大会」「プロ棋士による指導対局」について参加費を徴収して開催するなど予算削減に努めており、今後、さらに内容を精査し、費用削減について検討する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	明石薪能開催事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001000 - 011	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>			
	<b>款</b>	総務費	<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課		
	<b>項</b>	総務管理費	<b>連絡先</b>	(078)918-5607		
	<b>目</b>	文化振興・国際交流費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 元 年度
	<b>事業</b>	文化芸術振興事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例		
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		<b>実施方法</b>	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>
<b>個別計画</b>	文化芸術創生基本計画		委託 <input type="checkbox"/>	指定管理 <input type="checkbox"/>		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供することにより伝統文化に親しむ機会の拡充を図る。
<b>事業内容</b>	<平成24年度> 第15回明石薪能を明石公園で開催。 明石薪能本番前に「こども仕舞」の練習成果の舞台発表。（参加者18名） 9月16日（日）入場者数 約1,300人。	
	<平成25年度> 第16回明石薪能を明石公園で開催。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表。（参加者19名） 10月5日（土）入場者数 約1,200人。	
	<平成26年度> 第17回明石薪能を明石公園で10月4日（土）開催予定。 能楽師の協力を得て事前練習を行い、明石薪能の上演に先立ち「こども仕舞」を舞台発表する。	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
24決算	5,000	5,066	10,066	0	0	0	10,066	正規	0.40	ｱﾊﾞｲﾄ	0.05	
25当初予算	5,000	5,240	10,240	0	0	0	10,240	再任用	0.00	その他	0.00	
25決算	5,000	5,240	10,240	0	0	0	10,240	任期付	0.10	合計	0.55	
26当初予算	5,000	3,630	8,630	0	0	0	8,630					
<b>25年度決算事業費明細</b>	<b>区分（節）</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	<b>26年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分（節）</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>					
	負担金補助及び交付金	明石薪能開催事業補助金	5,000		負担金補助及び交付金	明石薪能開催事業補助金	5,000					
<b>合計</b>			5,000	<b>合計</b>			5,000					

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-011	事務事業名	明石薪能開催事業
------	----------------	-------	----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b> 伝統芸能を継承するとともに、市民に優れた伝統芸能である薪能を鑑賞する機会を提供できている。					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
		×		×	×	
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b> 優れた伝統芸能を守り、次代へと継承していくことは、市の重要な責務であると認識している。しかし、明石公園にて組立式能舞台を用いて薪能を開催するにあたっては、毎回組立・撤去に多額の経費を必要とし、費用対効果を考えると効果的な事業運営が行えているとはいえないと考えている。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名 子ども・親子対象芸術鑑賞事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 012						
		分割/統合									
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容							
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課						
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607						
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 24 年度				
	事業	文化芸術振興事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例						
施策分野		2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		実施方法		直営	○	補助・助成		その他	
個別計画		文化芸術創生基本計画		委託			指定管理				
事業の目的	対象（誰を・何を） 市民										
	意図（どういう状態にしたいのか） 次代を担う子どもたちに芸術鑑賞の機会を提供するとともに、芸術に触れる機会の少ない乳幼児を抱える子育て世代の鑑賞機会の拡充を図る。										
事業内容	<平成24年度> 0歳から1歳の乳児とともに参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を開催。 平成24年10月3日 明石市立西部市民会館ホール 入場者数 90組 210名 平成24年10月7日 明石市生涯学習センター子午線ホール 入場者数 80組 208名										
	<平成25年度> 0歳から1歳の乳児とともに参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を開催。 平成25年9月8日 明石市立西部市民会館ホール 入場者数 75組 223名 平成25年9月18日 明石市生涯学習センター子午線ホール 入場者数 84組 207名										
	<平成26年度> 0歳から1歳の乳児とともに参加できるクラシック音楽鑑賞会「Baby meets music あかし」を開催予定。										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	308	2,268	2,576	0	0	0	2,576	正規	0.30	ｱﾊﾞｲﾄ	0.05
25当初予算	860	2,075	2,935	0	0	0	2,935	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	466	2,075	2,541	0	0	0	2,541	任期付	0.05	合計	0.40
26当初予算	860	2,680	3,540	0	0	0	3,540				

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	出演謝礼		312		報償費
	役務費	舞台人件費、ピアノ調律費	39		需用費	チラシ等印刷費	62
	使用料及び賃借料	会場使用料、著作権使用料	115		役務費	舞台人件費	166
					使用料及び賃借料	会場使用料	154
	合計		466		合計		860

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-012	事務事業名	子ども・親子対象芸術鑑賞事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	入場者数	音楽鑑賞会に来られた人数	人	419	490	

### 指標で表せない成果

普段、芸術鑑賞の機会が乏しい子育て世代の方を対象に子どもとともに参加できる鑑賞会を開催し誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図れる。  
 昨年試行実施した乳児とともに鑑賞するクラシック音楽会(BMM)では、「赤ちゃんが泣いても、周りや演奏者に遠慮せずに音楽を鑑賞できた」と大変好評を得た。

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性				×		

### 現状の課題・今後の事業展開方針等

「Baby Meets Musicあかし」は、赤ちゃんと一緒に育児中の両親が文化芸術に触れる機会を提供する事業である。  
 今後も、芸術鑑賞の機会が乏しい子育て世代の方を対象に、子どもとともに参加できる鑑賞会を開催し、誰もが芸術に触れ親しむ機会の拡充を図りつつ、費用削減について検討していく。

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		姉妹都市交流推進事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 013		
				分割/統合					
関連 予算 科目	会計	一般会計		事業の分割/ 統合の内容					
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5607				
	目	文化振興・国際交流費		自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 43 年度		
	事業	姉妹都市交流事業		根拠法令 ・要綱等	姉妹都市提携				
施策分野		4 生活・環境分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他	
		4-6 都市間交流・国際交流の推進			委託		指定管理		
個別計画									
事業 の 目的	対象（誰を・何を） 市民、アメリカ合衆国バレホ市民								
	意図（どういう状態にしたいのか） 市民同士の継続的な交流事業や相互訪問などを通じて相互理解と友好、親善を深めるため、バレホ市と必要な連絡調整を行う。								
事業 内容	<平成24年度> ・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。								
	<平成25年度> ・姉妹都市提携45周年を記念し、明石市代表者がバレホ市を訪問。 人数：2人 期間：平成25年8月6日～平成25年8月10日(5日間)								
	<平成26年度> ・市民や関係者が訪問した際の相互受け入れなどのほか、必要に応じ随時連絡調整を行う。								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	0	672	672	0	0	0	672	正規	0.25	パート	0.00
25当初予算	1,616	3,735	5,351	0	0	0	5,351	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	1,074	3,735	4,809	0	0	0	4,809	任期付	0.00	合計	0.25
26当初予算	141	2,050	2,191	0	0	0	2,191				

  

25年度 決算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額	26年度 当初 予算 事業費 明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	通訳謝礼		14		報償費
	旅費	訪米旅費	980		役務費	文書翻訳料	101
	需用費	記念品等	80				
	合計		1,074		合計		141

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-013	事務事業名	姉妹都市交流推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み	
	<b>指標で表せない成果</b>						
バレホ市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×					
現状の課題・今後の事業展開方針等						
姉妹都市交流事業は、これまで45年間にわたり明石市と米国バレホ市の市民による交流を主体として実施してきた実績がある。バレホ市へ市内中高生を派遣し現地でのホームステイ体験や異文化交流など、子どもたちに国際感覚を身に着ける機会を提供できるのも、明石市とバレホ市が姉妹都市提携を結んでいることの成果と言える。 平成25年度は姉妹都市提携45周年記念事業として明石市の代表団を派遣したが、周年事業でない26年度は派遣を実施しない。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	友好都市交流推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001000 - 014				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課				
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5607			
	<b>目</b>	文化振興・国際交流費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 56 年度	
	<b>事業</b>	友好都市交流事業							
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野		<b>根拠法令・要綱等</b>	友好都市提携					
	4-6 都市間交流・国際交流の推進			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成		その他
<b>個別計画</b>			委託		<input type="radio"/>	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民、中国無錫市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	友好都市無錫市との継続的な市民間交流や両市公式団による相互訪問などを通じて両市の相互理解と友好、親善を深める。
<b>事業内容</b>	<b>&lt;平成24年度&gt;</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石市友好訪中団(無錫市国際友好都市交流会参加) 人数:2人 期間:平成24年11月5日～6日(2日間)</li> <li>・無錫市友好交流団(無錫市人民代表大会常務委員会副主任ほか) 人数:5人 期間:平成24年4月25日～4月26日(2日間)</li> <li>・無錫市物産業務交流団(研修生)人数:3人 期間:平成25年1月16日～2月2日(18日間)</li> </ul>	
	<b>&lt;平成25年度&gt;</b>	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石市友好訪中団 人数:2人 期間:平成25年8月29日～31日(3日間)</li> <li>・明石市中学生選抜吹奏楽訪中団 人数:中学生57人、引率教師、市随員、通訳、看護師ほか 計69人 期間:平成25年8月27日～31日(5日間)</li> <li>・無錫市友好交流団 人数:6人 期間:平成25年9月25日～9月26日(2日間)</li> <li>・無錫市医療衛生交流団(研修生) 人数:3人 期間:平成25年11月5日～11月23日(19日間)</li> </ul>	
<b>&lt;平成26年度&gt;</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石市友好訪中団(無錫市国際友好都市交流会参加) 人数未定 期間:平成26年10月20日～22日(3日間)</li> <li>・無錫市江南中学校吹奏楽交流団 人数:中学生62人、引率教師、通訳 計73人 期間:平成26年8月21日～26日(6日間)</li> <li>・無錫市友好交流団 人数、時期未定</li> <li>・無錫市研修生 人数、時期未定</li> </ul>		

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	1,907	12,264	14,171	0	0	0	14,171	正規	1.65	パート	0.00
25当初予算	5,671	14,110	19,781	0	0	0	19,781	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	4,486	14,110	18,596	0	0	0	18,596	任期付	0.00	合計	1.65
26当初予算	4,679	13,530	18,209	0	0	0	18,209				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	通訳謝礼	380		265	報償費	通訳謝礼
旅費	訪中旅費	1,024	683	旅費	出張旅費	683	
需用費	消耗品等	487	560	需用費	消耗品等	560	
役務費	文書翻訳料、携帯電話使用料	33	31	役務費	文書翻訳料	31	
委託料	派遣・受入事業委託	2,228	2,800	委託料	受入事業委託	2,800	
使用料及び賃借料	ホテル使用料	334	340	使用料及び賃借料	ホテル使用料	340	
<b>合計</b>			4,486	<b>合計</b>			4,679

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-014	事務事業名	友好都市交流推進事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み	
	<b>指標で表せない成果</b>						
無錫市との連絡調整がスムーズに進み、相互理解が深まっている。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
友好都市・中国無錫市とは、これまで33年間にわたり文化・スポーツによる市民間交流をしてきた実績がある。今後さらなる市民間交流を進めるためにも、明石市と中国無錫市の友好交流が必要不可欠なものとなっている。 本事業は無錫市との連絡調整に必要とされる最小限の事務費を計上している。 今後も、無錫市との市民間交流を推進する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	国際交流推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001000 - 015			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課			
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5607		
	<b>目</b>	文化振興・国際交流費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	平成 18 年度
	<b>事業</b>	国際交流事業						
<b>施策分野</b>	4 生活・環境分野 4-6 都市間交流・国際交流の推進	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市国際交流協会設立					
<b>個別計画</b>			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
		委託		<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民（在住外国人を含む）
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市民の国際理解を深め、多文化共生・地域国際化を推進する。
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広く市民に国際交流について普及啓蒙するとともに、幅広い国際交流を推進する。</li> <li>・国際交流促進事業（主な内容は下記①～③）を明石市国際交流協会へ委託し、多文化共生・地域国際化を進める。</li> <li>①国際交流・協力啓蒙事業（国際交流ボランティアの募集・育成 など） ②多文化共生事業（国際理解講演会、小中学校へのゲストティーチャーの派遣、日本語学習会「いろはクラブ」の開催 など） ③国際交流活動助成事業（最大5万円を市民団体に助成）</li> </ul>	
	<p>&lt;平成24年度&gt;（3月31日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①会員数598人、ボランティア登録人数延べ188人</li> <li>②国際理解講演会 パイマー・ヤンジン「トーク&amp;コンサート チベットのこころ 日本のこころを歌う」200人参加 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1013回</li> <li>③国際交流活動助成</li> </ul> <p>&lt;平成25年度&gt;（3月31日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①会員数648人、ボランティア登録人数延べ208人</li> <li>②ゲストティーチャー派遣2件4人、通訳・翻訳ボランティア登録者71人 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1252回</li> <li>③国際交流活動助成</li> </ul> <p>&lt;平成26年度&gt;（年度末見込み）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①会員数660人、ボランティア登録人数延べ210人</li> <li>②ゲストティーチャー派遣、通訳・翻訳 日本語学習会「いろはクラブ」開催件数 年間1250回</li> <li>③国際交流活動助成</li> </ul>	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
24決算	9,549	4,620	14,169	0	0	0	14,169	25年度決算事業費明細	26年度当初予算事業費明細	正規	1.00	パート	0.00
25当初予算	9,195	3,735	12,930	0	0	0	12,930			再任用	0.00	その他	0.00
25決算	8,921	3,735	12,656	0	0	0	12,656			任期付	0.00	合計	1.00
26当初予算	8,984	8,200	17,184	0	0	0	17,184						
25年度決算事業費明細	<b>区分（節）</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>	26年度当初予算事業費明細	<b>区分（節）</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>						
	旅費	近接地旅費	71		報償費	通訳謝礼	40						
	需用費	消耗品等	105		旅費	出張旅費	114						
	委託料	国際交流推進事業委託	8,690		需用費	消耗品等	90						
	使用料及び賃借料	施設入館料等	35		役務費	文書翻訳料	68						
	負担金補助及び交付金	年会費	20		委託料	国際交流推進事業委託	8,600						
					その他		72						
	<b>合計</b>				8,921	<b>合計</b>			8,984				

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-015	事務事業名	国際交流推進事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	国際交流協会会員数	国際交流についての市民への啓発が進み、国際交流に関する理解や重要性の認識が深まることにより、国際交流協会の会員数が増える。	人	598人	648人	660人
	国際交流協会ボランティア「いろはクラブ」活動実績	多文化共生社会が進むにつれて、国際交流協会の基幹事業である日本語学習会「いろはクラブ」をはじめとするボランティアの活動が活発になる。	回	1013回	1252回	1250回
<b>指標で表せない成果</b>						
市民の国際交流に対する理解を深めることで、地球上には様々な国や地域、民族があり、多様な考え方を持つ人々がそれぞれの価値観に基づいて暮らしていることを理解し、お互いに尊重していこうという多文化共生社会の考え方が普及している。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×	×				
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>国際交流推進事業は、明石市国際交流協会に市内在住外国人への日本語学習会や国際交流ボランティアの育成等を事業委託し、多文化共生社会づくりや地域の国際化を推進している。言葉や生活習慣の違いから地域になじみにくいと感じている外国人をサポートし、地域での暮らしを支えており、地域の安全・安心にもつながっている。</p> <p>同協会は設立から7年が経過し、これまで展開してきた多文化共生事業に加え、諸外国との市民間交流を推進するため国際交流事業に着手しはじめた所であり、市としては今後も同協会と協働で国際交流を推進する。</p>						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-016	事務事業名	諸外国との交流事業
------	----------------	-------	-----------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					
諸外国との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解が深まっている。						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
諸外国との交流事業費については、明石市に来られる外国からの賓客を歓迎する際に必要な経費であり、賓客の対応をするのは市として大切な仕事であるため、今後も事業を継続実施する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	文化博物館運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001000 - 017				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課				
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5608			
	<b>目</b>	文化博物館費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	平成 3 年度	
	<b>事業</b>	文化博物館運営事業							
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立文化博物館条例・明石市立文化博物館条例施行規則					
<b>個別計画</b>	文化芸術創生基本計画			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他
					委託		指定管理	○	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	明石市立文化博物館
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	明石の歴史や民俗等に対する市民の理解を深めるために当該資料の収集・展示を進めるとともに、質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図り、さらに発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。

<b>事業内容</b>	事業の目的のために、展覧会、貸館業務、施設維持管理業務、その他の業務を行う。	
	①	指定管理者による展覧会の実施 平成24年度 特別展3回、特別企画展1回、企画展4回、共催展3回 観覧者数92,184人 平成25年度 特別展2回、特別企画展1回、企画展4回、共催展1回 観覧者数85,907人 平成26年度計画 特別展2回、特別企画展1回、企画展4回 観覧者数75,000人
②	指定管理者による貸館事業 平成24年度 ギャラリー(23件、稼働率89.6%、利用者数24,769人)、会議室(39件、稼働率27.1%、利用者数1,850人) 平成25年度 ギャラリー(25件、稼働率87.9%、利用者数27,511人)、会議室(42件、稼働率53.4%、利用者数2,582人)	
③	指定管理者による施設維持管理業務の実施 平成24年度 修繕34件 平成25年度 修繕39件	
④	指定管理者による博物館資料の整備 資料購入数 平成24年度 2件 平成25年度 1件 寄贈資料の受け入れ 平成24年度 10件1,716点 平成25年度 1件1点	
⑤	学校観覧数(小・中・特別支援学校) 平成24年度 83校 平成25年度 75校	
⑥	ボランティア育成事業 平成24年度 登録人数68人、活動延べ人数860人 平成25年度 登録人数80人、活動延べ人数961人	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	152,060	11,600	163,660	0	0	1,449	162,211	正規	1.40	パート	0.00
25当初予算	159,510	11,470	170,980	0	0	1,245	169,735	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	155,573	11,470	167,043	0	0	1,317	165,726	任期付	0.00	合計	1.40
26当初予算	161,788	11,480	173,268	0	0	1,152	172,116				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	年度協定書製本費	5			報償費	選定委員会 委員謝礼
委託料	指定管理料	155,568		旅費	選定委員会 委員旅費	10	
				需用費	選定委員会開催に伴う消耗品等	44	
				委託料	指定管理料	161,424	
				使用料及び賃借料	選定委員会 会場使用料	50	
	<b>合計</b>		155,573		<b>合計</b>	161,788	

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-017	事務事業名	文化博物館運営事業
------	----------------	-------	-----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	展覧会観覧者数	質の高い文化・芸術の提供と鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	人	92,184	85,907	75,000
	<b>指標で表せない成果</b>					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・明石の歴史や明石にゆかりのある作家の展覧会を実施することにより、郷土への理解を深めることに貢献している。また、質の高い展覧会を実施することで、生活や創造活動への活力を生み出している。</li> <li>・学校観覧では、実物に触れることで、児童・生徒が学習の理解を深め、新たな興味を抱く場として利用されている。</li> <li>・公募で登録された博物館ボランティアによる十二単の着付け体験や機織り体験などの活動により、来館者の満足度の向上、世代間の交流、ボランティアの自己実現など、幅広い成果を創出している。</li> </ul>					

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化博物館の設置目的である「歴史、民俗等に対する市民の理解を深める」ことを達成するためには、明石の歴史や文化、文化博物館の資料に関する知識や専門性を活かして調査研究を行い、その成果を展示や資料収集、専門事項への問い合わせ対応などで市民に還元することが必要である。これらの知識や専門性を習得し活用するためには相応の期間が必要であるが、指定管理者制度の導入以降、頻繁に学芸員が入れ替わっており、地域の博物館としての専門性が希薄になっている。</li> <li>・上記課題を解決するため、文化博物館運営方法の再検討を行い、実施に向けた準備を進めていく。また、これまで手薄であった「歴史、民俗等に対する市民の理解を深める」ために必要な事業に力を入れ、多様な文化芸術の鑑賞機会を提供するための特別展開催と共にバランスのとれた博物館活動を展開していく。</li> <li>・さらに、地域に愛される施設となるような事業について、次期指定管理者に新たな提案を求めていく。</li> </ul>					



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-018	事務事業名	文化博物館施設整備事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果						

### 指標で表せない成果

・文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検や営繕課と実施する市有建築物の定期巡回点検と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。  
 ・平成24年度は、文化博物館空調設備改修工事を行うことにより、館空調の安定した運転及び来館者の快適な観覧環境を確保することができた。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
開館以来23年が経過し、施設の各所に改修・更新の必要な部分が生じている。施設を管理する指定管理者に中長期修繕計画を提出させ、優先順位を付けて年次的に改修・修繕を実施すると共に、市側で施工する必要のある大規模工事については予算措置を講じて実施していく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名 市民会館運営事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 019				
		分割/統合							
関連予算科目	会計	一般会計	事業の分割/統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5608					
	目	市民会館費	自治/法定	自治事務	開始年度	昭和 46 年度			
	事業	市民会館運営事業	根拠法令・要綱等	明石市立市民会館条例・同条例施行規則・明石市立西部市民会館条例・同条例施行規則・明石市立公会堂条例・同条例施行規則・明石市立市民ホール条例・同条例施行規則					
施策分野		2 教育・文化分野	実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		2-4 文化芸術の振興		委託		指定管理	○		
個別計画		文化芸術創生基本計画							

事業の目的	対象（誰を・何を）	明石市立市民会館、明石市立西部市民会館、明石市立中崎公会堂、明石市立市民ホール（以下、「市民会館等」という。）
	意図（どういう状態にしたいのか）	市民の福祉の増進を図り、文化の向上に寄与するため、市民ニーズに沿った古典から現代に至る多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞及び発表の場を積極的に提供する施設として、円滑な運営及び管理を行う。

事業内容	事業の目的のために、貸館業務、自主事業、施設維持管理業務、その他の業務を行う。	
	①指定管理者による貸館事業の実施	平成24年度 市民会館(1,999件、稼働率53.5%、利用者数188,493人) 西部市民会館(697件、稼働率54.1%、利用者数63,697人) 中崎公会堂(916件、稼働率54.8%、利用者数22,454人) 市民ホール(432件、稼働率55.1%、利用者数22,765人) 平成25年度 市民会館(2,040件、稼働率52.9%、利用者数209,187人) 西部市民会館(628件、稼働率50.2%、利用者数58,969人) 中崎公会堂(1,056件、稼働率62.3%、利用者数21,592人) 市民ホール(418件、稼働率54.8%、利用者数25,445人)
	②指定管理者による自主事業の実施	平成24年度 36公演53ステージ開催 観覧者数 26,342人 平成25年度 45公演61ステージ開催 観覧者数 35,791人 平成26年度計画 25公演43ステージ
	③指定管理者による施設維持管理業務の実施	平成24年度 修繕43件(市民会館 19件、西部市民会館 18件、中崎公会堂 4件、市民ホール 2件) 平成25年度 修繕70件(市民会館 30件、西部市民会館 31件、中崎公会堂 7件、市民ホール 2件)
	④その他の業務	平成24年度 広報紙「しおさい」の発行 96,000部、友の会(247人6団体)、第九合唱団(214人)の育成等の実施 平成25年度 広報紙「しおさい」の発行 96,000部、友の会(549人5団体)、第九合唱団(216人)の育成等の実施

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	164,700	9,260	173,960	0	0	1,044	172,916	正規	1.40	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00
25当初予算	164,710	9,170	173,880	0	0	935	172,945	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	163,833	9,170	173,003	0	0	999	172,004	任期付	0.00	合計	1.40
26当初予算	172,045	11,480	183,525	0	0	900	182,625				

区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	年度協定書印刷製本費	5		報償費	選定委員会 委員謝礼	480
委託料	指定管理料	163,828		旅費	選定委員会 委員旅費	20
				需用費	選定委員会開催に伴う消耗品等	64
				委託料	指定管理料	171,421
				使用料及び賃借料	選定委員会 会場使用料	60
合計		163,833		合計		172,045

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-019	事務事業名	市民会館運営事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	4施設の利用者数	芸術・文化の発表の場としての指標として設定する。	人	297,409	315,193	330,000
	自主事業の入場者数	市民ニーズに沿った多彩で質の高い文化・芸術の鑑賞機会の拡充を図る指標として設定する。	人	26,342	35,791	30,000
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・指定管理者により、市民企画委員会やアウトリーチ事業、西部市民会館活性化のための事業など、これまで課題であった部分に関する新たな試みが行われた。</li> <li>・施設のバリアフリー化の一環として、市民会館大ホール1階客席の一部を車椅子対応のため可動式に改修した。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>以下の各施設における課題について、指定管理者に提案を求めながら解決を図っていく。</p> <p>(市民会館) 明石駅から徒歩15分と、立地面で多少不利な面がある。また、座席数が大ホール1,280席と多くないため、公演事業については、演目の選定と広報に工夫が必要である。</p> <p>(市民ホール) 平成20年度に実施されたリニューアルにより、音楽ホールとしての利用に適するようになったが、実際の利用としては太極拳や会議などが多く、施設の活用が十分に図れていない。また、駅に近いという立地を生かして夜間利用を促進し、幅広い目的で利用してもらう必要がある。</p> <p>(中崎公会堂) 現在は、体育施設的な利用をされることが多く、文化財として、その趣きを活かした、明石らしい自主事業の実施が求められる。</p> <p>(西部市民会館) ホールの稼働率が低いと、利便性の良さを周知し、西部地域の文化芸術の拠点としてのホール利用をより高める必要がある。</p>						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-020	事務事業名	市民会館施設整備事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み	
	<b>指標で表せない成果</b>						
・文化振興課と指定管理者で実施する施設の安全点検や営繕課と実施する市有建築物の定期巡回点検と連動して施設の不具合を極力少なくし、施設・設備の安全性を確保することができる。							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
（市民会館） 開館後43年が経過しており、館内各所で雨漏りが見られるなど施設・設備面での老朽化が顕著になってきている。また、空調については市役所本庁舎からの冷温水供給となっているため冷暖房の効率が悪い。 計画的に改修工事や設備の更新を実施する。長期的な修繕・改修計画については関係部局と協議を行い、空調については、いずれ大規模改修を行う必要があると考える。						
（西部市民会館） 開館から15年が経過し、音響、照明設備について更新の時期となっている。計画的に改修工事や設備の更新を実施する。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	文化財保護調査・啓発事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001000 - 021			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	教育費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課			
	<b>項</b>	社会教育費			<b>連絡先</b>	(078)918-5629		
	<b>目</b>	社会教育総務費		<b>自治/法定</b>		自治+法定	<b>開始年度</b>	不明
	<b>事業</b>	文化財保護調査・啓発事業						
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	<b>根拠法令・要綱等</b>	文化財保護法・明石市文化財保護条例・明石市文化財保護条例施行規則・明石市文化財審議会規則					
<b>個別計画</b>	あかし教育プラン		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他
				委託	○	指定管理		

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市内の文化財を保護するとともに、文化財啓発事業を推進することにより、市民の文化財に対する理解を深める。

<b>事業内容</b>	平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 文化財審議会の開催(年2回)</li> <li>2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(4ヶ所各3回)</li> <li>3 市指定文化財保護に対する補助</li> <li>4 「発掘された明石の歴史展」の開催</li> <li>5 地域文化財の普及活用事業 明石市中部の文化遺産のマップ作りと東部のマップを活用した事業を行った。</li> <li>6 出前講座の実施</li> </ul>
	平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 文化財審議会の開催(年3回)</li> <li>2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(4ヶ所各3回)</li> <li>3 県・市指定文化財保護に対する補助</li> <li>4 「発掘された明石の歴史展」の開催</li> <li>5 地域文化財の普及活用事業 明石西部の文化遺産のマップ作りと中部のマップを活用した事業を行った。</li> <li>6 出前講座の実施</li> </ul>
	平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>1 文化財審議会の開催(年3回)</li> <li>2 埋蔵文化財包蔵地除草の実施(4ヶ所各3回)</li> <li>3 県・市指定文化財保護に対する補助(住吉神社楼門屋根瓦修繕事業等)</li> <li>4 「発掘された明石の歴史展」の開催</li> <li>5 地域文化財の普及活用事業 明石全域の文化遺産を網羅した資料集の作成と、西部文化遺産マップを活用した事業を行う。</li> <li>6 寺山古墳石室の移設</li> </ul>

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	6,974	7,960	14,934	0	0	0	14,934	正規	0.50	パート	0.00
25当初予算	7,677	12,950	20,627	0	0	150	20,477	再任用	0.20	その他	0.00
25決算	7,142	12,950	20,092	0	0	579	19,513	任期付	0.50	合計	1.20
26当初予算	14,711	6,080	20,791	0	6,000	150	14,641				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報酬	文化財審議会委員報酬	130		報酬	文化財審議会委員報酬	150
旅費	地域文化財普及活用事業に伴う講師招聘旅費	22	旅費	地域文化財普及活用事業に伴う講師招聘旅費	66		
需用費	文化財保護調査用フィルム現像、市内文化財標柱修繕	456	需用費	文化財保護調査用フィルム現像、市内文化財標柱修繕	588		
役務費	文化博物館内作業室電話回線使用料	88	役務費	文化博物館内作業室電話回線使用料	90		
委託料	「発掘された明石の歴史展」「明石藩関連資料調査研究」委託料	5,483	委託料	「発掘された明石の歴史展」「明石藩関連資料調査補修公開」事	11,900		
その他	市指定文化財補助金等	963	その他	市指定文化財補助金等	1,917		
<b>合計</b>			7,142	<b>合計</b>			14,711

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-021	事務事業名	文化財保護調査・啓発事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	企画展「発掘された明石の歴史展」の入館者数	市内で出土した埋蔵文化財の公開に訪れた来館者の数により市民の文化財に対する関心度を図る指標とする。	人	2,000	2,100	2,100
	出前講座「市内の文化財について」の実施回数	市内団体等の要請により行った出前講座の件数により文化財啓発活動の量を示す指標とする。	回 (人)	10 (約300人)	10 (約300人)	15 (約400人)
指標で表せない成果						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>地域にある文化財を保護・啓発することは、歴史を活用した地域づくりを進め、それを担う地域住民を育てることができることから、今後もこの事業を積極的に推進することにより、より一層の地域づくり・人づくりに寄与する必要がある。発掘調査によって出土した資料や寄贈を受けた明石藩関連の資料の展示公開を図っていく中で、明石の歴史、文化を多くの人に知ってもらい、郷土への愛着を深めてもらう。また、未来を担う小・中学生にも興味をもってもらおうよう、体験学習や出前講座等の機会を増やし、次世代に伝統的な歴史、文化を継承していく。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		埋蔵文化財発掘調査事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 022			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	社会教育費		連絡先	(078)918-5629					
	目	社会教育総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明			
	事業	埋蔵文化財発掘調査事業		根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例					
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
個別計画		あかし教育プラン								
事業の目的	対象（誰を・何を）									
	市内に所在する埋蔵文化財									
事業内容	意図（どういう状態にしたいのか）									
	周知の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅等を建築する際に発掘調査を行い、埋蔵文化財の記録保存化を図る。開発事業に先立ち、遺跡の存否あるいは範囲の確認のための試掘・確認調査を行うことにより、適切な埋蔵文化財の保護措置をとり、円滑な開発事業の推進を図る。									
<p>平成24年度 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。7件の発掘調査を行った。</p> <p>平成25年度 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。6件の発掘調査を行った。</p> <p>平成26年度 明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等市内一円の埋蔵文化財包蔵地内における個人住宅建設に伴う発掘調査及び市内における遺跡の範囲確認調査を実施する。8件の発掘調査が行われる予定である。</p>										

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源	正規	パート	再任用	その他
24決算	6,018	5,380	11,398	0	0	0	11,398				
25当初予算	6,500	7,010	13,510	4,875	0	0	8,635	0.20		0.00	
25決算	8,300	7,010	15,310	6,225	0	0	9,085	0.00		0.00	
26当初予算	6,776	3,200	9,976	5,250	0	0	4,726	0.60		0.80	

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	発掘調査に伴う消耗品費及び記録写真現像料等	473			報償費	出土資料鑑定謝礼
委託料	発掘作業委託等	7,827		旅費	出土資料鑑定に伴う旅費等	10	
				需用費	発掘調査に伴う消耗品費及び記録写真現像料等	406	
				委託料	発掘作業委託	6,300	
	合計		8,300		合計		6,776

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-022	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果						

### 指標で表せない成果

開発事業に先立って確認調査を行うことにより、その調査のデータに基づき、開発業者へ設計変更等を指示するなど、埋蔵文化財の保存に向けたきめの細かい協議を行うことができています。また、個人住宅の建て替え等による調査では、上ノ丸で奈良～近代の遺構・遺物が見つかるなど、新たな歴史的事実が加わった。

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性

### 現状の課題・今後の事業展開方針等

埋蔵文化財の発掘調査は、文化財保護法に基づき、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業であり、継続的に行っていく必要がある。得られた成果を効率的にまとめ、いかに多くの人に知ってもらい活用が図れるかが今後の課題である。

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001000 - 023				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	教育費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課				
	<b>項</b>	社会教育費		<b>連絡先</b>	(078)918-5629				
	<b>目</b>	社会教育総務費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明		
	<b>事業</b>	埋蔵文化財発掘調査事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	文化財保護法・明石市文化財保護条例				
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他	○
	2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	あかし教育プラン								

<b>事業の目的</b>	<b>対象(誰を・何を)</b>	市内に所在する埋蔵文化財
	<b>意図(どういう状態にしたいのか)</b>	周知の埋蔵文化財包蔵地内の開発に先立ち、事前に発掘調査を行うことにより、資料の適切な保存を図り、地域の歴史・文化の向上に役立てる。
<b>事業内容</b>	平成24年度	明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、10件の発掘調査を実施した。
	平成25年度	明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、12件の発掘調査を行った。
	平成26年度	明石城武家屋敷跡、魚住古窯跡群等埋蔵文化財包蔵地内における民間の宅地開発事業等に伴う記録保存のための発掘調査について、事前に開発事業者と調査費用・調査期間を定めた協定を締結し、発掘調査業務を開発事業者より受託し、調査作業を民間の発掘調査専門業者に委託し、7件の発掘調査を実施する予定である。

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	9,040	5,380	14,420	0	0	0	14,420	正規	0.70	パート	0.00
25当初予算	60,300	7,010	67,310	0	0	64,521	2,789	再任用	0.00	その他	1.00
25決算	1,826	7,010	8,836	0	0	9,370	-534	任期付	1.90	合計	3.60
26当初予算	60,300	10,680	70,980	0	0	64,521	6,459				

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	発掘調査に伴う消耗品費及び記録写真現像料等	46		需用費	発掘調査に伴う消耗品費及び記録写真現像料等	300
委託料	埋蔵文化財発掘業務委託	1,780	委託料	埋蔵文化財発掘業務委託	60,000		
	合計		1,826		合計		60,300

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-023	事務事業名	埋蔵文化財発掘調査事業(受託分)
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み	
	<b>指標で表せない成果</b>						
<p>出土資料の整理を経て、コミセンなどへの出前講座や、展示会などを通して、広く地域住民にその成果を還元することができた。</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>・文化財保護法に基づき、市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う事業であり、市民の文化や歴史を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。</p> <p>・開発事業に伴う発掘調査の場合、それに要する経費は開発事業者が負担することになっている。開発業者と事前に緊密な調整を行う中で、開発事業者が負担する経費や調査期間の縮減を図り、かつ、埋蔵文化財に関する記録を必要十分な形で後世に伝えていく必要がある。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	埋蔵文化財出土資料整理事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 024			
				分割/統合						
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	教育費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	社会教育費			連絡先	(078)918-5629				
	目	社会教育総務費			自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	埋蔵文化財出土資料整理事業			根拠法令・要綱等	文化財保護法・明石市文化財保護条例				
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他	
	2-4 文化芸術の振興				委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	あかし教育プラン									

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した資料の整理を行い、資料の長期保存と、調査結果を公開することにより、市民に成果を還元し、郷土の歴史・文化財への理解を深め、次世代へ継承していくよう保護意識の啓発を目的とする。

<b>事業内容</b>	平成24年度	1 整理作業及び年報の発行等 市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した土器、陶磁器、木器、漆器などの資料の中から重要な資料の実測、トレース、写真撮影を行い、発掘調査の成果を報告書・展示等で公開した。 2 保存処理業務 出土資料のうち、木器、金属器等劣化しやすい資料の保存処理業務を専門事業者に委託し、資料の適切な保存に努めた。
	平成25年度	1 整理作業及び年報の発行等 市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した土器、陶磁器、木器、漆器などの資料の中から重要な資料の実測、トレース、写真撮影を行い、発掘調査の成果を報告書・展示等で公開する。また、大久保町報恩寺跡の出土資料の市指定に向け、調査報告書を刊行した。 2 保存処理業務 寺山古墳等金属器等劣化しやすい資料の保存処理業務を専門事業者に委託し、資料の適切な保存に努めた。
	平成26年度	1 市内で行われた8箇所の埋蔵文化財発掘調査現場から出土した遺物を整理し、年報を発行する。 2 保存処理業務 出土資料のうち、木器、金属器等劣化しやすい資料の保存処理業務を専門事業者に委託し、資料の適切な保存に努める。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	2,145	13,760	15,905	0	0	0	15,905	正規	0.50	パート	0.00
25当初予算	3,880	17,350	21,230	0	0	0	21,230	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	3,445	17,350	20,795	0	0	0	20,795	任期付	5.00	合計	5.50
26当初予算	2,420	17,100	19,520	0	0	0	19,520				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	出土資料鑑定謝礼	156		報償費	出土資料鑑定謝礼	45
旅費	資料調査旅費等	38	旅費	資料調査旅費等	85		
需用費	出土資料整理用消耗品 調査報告書作成費	1,753	需用費	出土資料整理用消耗品 調査報告書作成費	790		
委託料	埋蔵文化財出土資料保存処理委託等	1,498	委託料	埋蔵文化財出土資料保存処理委託	1,500		
<b>合計</b>			3,445	<b>合計</b>			2,420

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-024	事務事業名	埋蔵文化財出土資料整理事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果						
<b>指標で表せない成果</b>						
調査成果の公開により、市民の歴史文化に対する理解を促進させることができ、文化財を通して郷土に対する愛着を深めることができる。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性						
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
市民にとって貴重な財産である埋蔵文化財を保護するために行う文化財保護法に定められた事業であり、市民の文化や歴史を継承・発展させていくためにも、推進していく必要がある。そのため、貴重な埋蔵文化財を劣化から守り、長期的に活用していくためにも、迅速かつ正確な資料整理が必要であり、その成果として埋蔵文化財発掘報告書を刊行する。また、刊行した報告書を用いて高齢者大学やコミセン、地元自治会等で説明会を開催することにより、市民に広く公開し、地域の歴史・文化の普及・啓発を図っていく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	埋蔵文化財保護調査人材育成(緊急雇用)事業			新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 025			
				分割/統合						
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計			事業の分割/統合の内容					
	款	教育費			事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課				
	項	社会教育費			連絡先	(078)918-5629				
	目	社会教育総務費			自治/法定	自治事務	開始年度	平成 25 年度		
	事業	埋蔵文化財保護調査人材育成(緊急雇用)事業			根拠法令・要綱等					
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野			<b>実施方法</b>	直営		補助・助成		その他	
	2-4 文化芸術の振興				委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	あかし教育プラン									
<b>事業の目的</b>	<b>対象(誰を・何を)</b>									
	起業10年以内の市内業者									
<b>事業の目的</b>	<b>意図(どういう状態にしたいのか)</b>									
	近年、開発事業数の減少や市町村合併に伴う人員削減、地方公共団体における財政難等の事情により、行政発掘にかかわる地方公共団体関係の調査組織は顕著な縮小傾向にある。一方、従来公の機関がおもに当たってきた発掘調査に民間調査組織の参入が進み、開発事業に関わる発掘調査のあり方は多様化しつつある。そのような状況を踏まえ、民間企業において発掘調査等に長けた人材を育成することにより、調査組織の整備や調査の質的維持・向上を目的とする。									
<b>事業内容</b>	(平成26年度)									
	埋蔵文化財発掘調査から出土遺物の整理まで文化財保護にあたっての知識・技能を身に着けた人材を育成するため、発掘調査現場や出土資料整理場所で業務にあたる。 ・埋蔵文化財発掘調査現場で調査に従事(記録図面作成等) ・出土資料作成(出土品の洗浄、接合、実測) ・発掘調査報告書作成補助									

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)					
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源						
24決算	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25当初予算	3,000	0	3,000	0	0	0	0	3,000	正規	0.40	ｱﾊﾞｲﾄ	0.00	0.00
25決算	182	0	182	0	182	0	0	0	再任用	0.00	その他	0.00	0.00
26当初予算	14,000	3,280	17,280	14,000	0	0	0	3,280	任期付	0.00	合計	0.40	0.40

  

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
		報償費	埋蔵文化財発掘調査に伴う消耗品費		22		需用費
	委託料	配置人員賃金・事務経費等	160		委託料	配置人員賃金・事務経費等	13,810
	合計		182		合計		14,000

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-025	事務事業名	埋蔵文化財保護調査人材育成(緊急雇用)事業
------	----------------	-------	-----------------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	雇用者数	当該事業によって採用された人数	人		4	4
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<p>昨今の自治体を取り巻く環境の変化により、埋蔵文化財発掘調査を担う人材は官だけではなく民間企業にも今まで以上に必要とされてきている。そのような状況下、官で埋蔵文化財発掘調査に携わる人材を育成し、民間企業への就職を促進することは重要であるとする。当該事業は県基金による100%補助を受けており、その補助が今年度末で終了するが、今後の国・県の動向を注視しつつ、来年度以降の事業展開方針を定めていく。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		市史編さん事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130001000 - 026			
				分割/統合						
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容						
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	社会教育費		連絡先	(078)918-5629					
	目	社会教育総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 25 年度			
	事業	市史編さん事業		根拠法令・要綱等	文化芸術振興基本法					
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成		その他	
		2-4 文化芸術の振興			委託	○	指定管理			
個別計画		あかし教育プラン								
事業の目的	対象（誰を・何を） 一般市民・近隣自治体									
	意図（どういう状態にしたいのか） 既刊『明石市史』は昭和35年（1960年）に刊行されたものであり、相当の年月が経過している。その間、総合的な歴史研究の進展に加え、明石の歴史を塗り替える新たな貴重な資料も多く発見されており、既存の市史では不十分な内容となっている。そこで、新たな『明石市史』を編さん・刊行する事業を実施し、市史がさまざまな場で活用されることで歴史息づく明石のまちに誇りと愛着をもってもらうとともに、今でなければ記録しえない地域の歴史についても記録化・保存し後世に伝えることを目的とする。									
事業内容	（平成25年度） 市史編さん事業に向けて、学識経験者5名による会議を4回開催し、その仕様や市史編さんの体制、市民への普及を図るためのあり方等について検討する。									
	（平成26年度） 平成27年度以降に重点的に調査が必要な項目を整理する。また、地域に残る歴史資料をボランティアとともに掘り起こし、調査・研究を行う。 既存歴史資料の洗い出しを行い、調査の過程で明らかになった事業成果について、適宜広報活動・啓発活動に努め、市民に還元する。									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	0	0	0	0	0	0	0				
25当初予算	594	2,490	3,084	0	0	0	3,084	正規	0.70	パート	0.00
25決算	328	2,490	2,818	0	0	0	2,818	再任用	0.80	その他	1.00
26当初予算	4,000	13,660	17,660	0	0	0	17,660	任期付	2.00	合計	4.50

  

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報償費	市史編さん実行委員会委員に対する謝礼	196		200	報償費	市史編さん実行委員会委員に対する謝礼
旅費	資料調査旅費	132	123	需用費	コピー用紙代等	123	
				委託料	調査研究委託料	3,350	
				使用料及び賃借料	コピー機使用料	27	
				備品購入費	資料保管用スチール棚等購入費	300	
	合計		328		合計	4,000	

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-026	事務事業名	市史編さん事業
------	----------------	-------	---------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>原始・古代から現代までの通史と、地域の民俗や伝承などの地域史編を図版や写真を豊富に取り入れた図説形式にしてわかりやすい形の市史を刊行する。</p> <p>26年度は、25年度検討した編集方針に基づき、調査・研究を行っていく。</p>						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-027	事務事業名	明石市青少年派遣事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
						\
						\
	<b>指標で表せない成果</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解を深める。</li> <li>・将来の明石市の国際交流を担うことのできる人材の育成を図る。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	平成25年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成25年度限りで休廃止						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-028	事務事業名	中崎寄席開催事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	参加人数	鑑賞した人数	人	293	293	/
						/
<b>指標で表せない成果</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・姉妹都市との交流を進めることにより、市民の国際交流への理解を深める。</li> <li>・将来の明石市の国際交流を担うことのできる人材の育成を図る。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成25年度限りで休廃止						
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
平成25年度限りで休廃止						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	東播磨文化団体連合会との共催事業			<b>新規/継続</b>	H25休廃止	<b>整理番号</b>	0130001000 - 029			
				<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計			<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費			<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課				
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5607				
	<b>目</b>	文化振興・国際交流費			<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 25 年度		
	<b>事業</b>	文化芸術振興事業			<b>根拠法令・要綱等</b>	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例				
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
	2-4 文化芸術の振興				委託		指定管理			
<b>個別計画</b>										

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民								
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	東播磨各地域で活動している文化芸術団体に対し、発表と交流の場を提供するとともに、地域住民に優れた芸術文化に触れる機会を提供し、東播磨地域の文化芸術の振興を図る。								
<b>事業内容</b>	<p>・北播磨・東播磨の8市3町（明石市・加古川市・高砂市・三木市・小野市・西脇市・加西市・加東市・稲美町・播磨町・多可町）の文化団体連合会で構成される東播磨文化団体連合会が事業主体。コーラス大会、みんよう大会、芸能祭、選抜美術展、大茶会等の開催を各市町持ち回りで開催している。平成25年度は「東はりま芸能祭」を明石市で開催予定。</p> <p>《東はりま芸能祭》（単年度 平成25年度実施事業）                  開催時期：平成26年2月15日（土）                  会 場：明石市立市民会館 大ホール</p> <p>※平成26年度は持ち回り開催分なし</p>									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）				
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源					
24決算	0	0	0	0	0	0	0	0				
25当初予算	300	0	300	0	0	0	0	300	正規		ｱﾊﾞｲﾄ	
25決算	300	0	300	0	0	0	0	300	再任用		その他	
26当初予算									任期付		合計	
<b>25年度決算事業費明細</b>	<b>区分（節）</b>	<b>内容</b>		<b>金額</b>		<b>26年度当初予算事業費明細</b>	<b>区分（節）</b>	<b>内容</b>		<b>金額</b>		
	負担金補助及び交付金	東播磨文化団体連合会との共催負担金		300								
	<b>合計</b>		300			<b>合計</b>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-029	事務事業名	東播磨文化団体連合会との共催事業
------	----------------	-------	------------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
						\
						\
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成25年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成25年度限りで休廃止						

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名 ふれあいの祭典開催事業		新規/継続	H25休廃止	整理番号	0130001000 - 030				
		分割/統合							
関連 予算 科目	会計	一般会計	事業の分割/ 統合の内容						
	款	総務費	事業所管課	文化・スポーツ部文化振興課					
	項	総務管理費	連絡先	(078)918-5607					
	目	文化振興・国際交流費	自治/法定	自治事務	開始年度	平成 25 年度			
	事業	文化芸術振興事業	根拠法令 ・要綱等	文化芸術振興基本法、明石文化芸術創生条例					
施策分野		2 教育・文化分野	実施方法	直営	○	補助・助成	○	その他	
		2-4 文化芸術の振興		委託		指定管理			
個別計画									

事業の 目的	対象（誰を・何を）	市民						
	意図（どういう状態にしたいのか）	県内の文化振興と交流の輪を地域に定着・発展させるため、県内各地に市県民の多彩な文化活動の発表の場を設け、身近な場所で芸術文化に親しみ、交流の輪を広げることにより、地域文化のすそ野の拡大を図る。						
事業内容	<p>・「ふれあいの祭典」県民文化普及事業は、県域文化団体と県、市町等が一体となって開催する。</p> <p>《ひょうご吟剣詩舞道祭》（単年度 平成25年度実施事業）</p> <p>・吟剣詩舞を愛好するものが一堂に会し、合吟コンクールや青少年の吟剣詩舞発表、企画構成吟等の披露。</p> <p>開催時期：平成25年12月8日（日）</p> <p>会 場：明石市立市民会館 大ホール</p> <p>※平成26年度は開催なし</p>							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	0	0	0	0	0	0	0				
25当初予算	540	0	540	0	0	0	540	正規	ｱﾊﾞｲﾄ		
25決算	540	0	540	0	0	0	540	再任用	その他		
26当初予算								任期付	合計		
25 年度 決算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額	26 年度 当初 予算 事業 費 明 細	区分（節）	内容	金額				
		負担金補助及び交付金	開催市負担金		540						
	合計		540		合計						

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-030	事務事業名	ふれあいの祭典開催事業
------	----------------	-------	-------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
	平成25年度限りで休廃止					
	現状の課題・今後の事業展開方針等					
平成25年度限りで休廃止						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	埋蔵文化財収蔵資料整理(緊急雇用)	<b>新規/継続</b>	H25休廃止	<b>整理番号</b>	0130001000 - 031	
		<b>分割/統合</b>				
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>			
	<b>款</b>	教育費	<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部文化振興課		
	<b>項</b>	社会教育費	<b>連絡先</b>	(078)918-5629		
	<b>目</b>	社会教育総務費	<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 21 年度
	<b>事業</b>	埋蔵文化財収蔵資料整理(緊急雇用)事業	<b>根拠法令・要綱等</b>	文化財保護法・明石市文化財保護条例・兵庫県緊急雇用就業機会創出基金補助事業実施要領		
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-4 文化芸術の振興	<b>実施方法</b>	直営 <input type="radio"/>	補助・助成 <input type="radio"/>	その他 <input type="radio"/>	
<b>個別計画</b>	あかし教育プラン		委託 <input type="radio"/>	指定管理 <input type="radio"/>		

<b>事業の目的</b>	<b>対象(誰を・何を)</b>	市内より出土した埋蔵文化財資料
	<b>意図(どういう状態にしたいのか)</b>	出土資料は地域の歴史を語る上で将来にわたって保存し、活用されるものであることから、広く市民が利用しやすくするため、整理・データベース化を行い、埋蔵文化財収蔵施設としての体裁を整える。

<b>事業内容</b>	平成23年度 あかねが丘学園の空き教室3教室分の埋蔵文化財収蔵資料コンテナ数約800箱の整理・データ化
	平成24年度 あかねが丘学園の空き教室5教室分の埋蔵文化財収蔵資料コンテナ数約1500箱の整理・データ化
	平成25年度 あかねが丘学園の空き教室3教室分の埋蔵文化財収蔵資料コンテナ数約800箱の整理・データ化

事業のコスト (単位:千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)		
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源			
24決算	415	16,920	17,335	17,335	0	0	0	正規	アハハ	その他
25当初予算	440	7,200	7,640	7,640	0	0	0			
25決算	425	7,200	7,625	7,625	0	0	0			
26当初予算								任期付		

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	注記・接合作業用消耗品費	175				
役務費	収蔵資料運搬	250					
	<b>合計</b>		425		<b>合計</b>		

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001000-031	事務事業名	埋蔵文化財収蔵資料整理(緊急雇用)
------	----------------	-------	-------------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	整理済みの出土資料コンテナ	市民に還元できる整理を経てデータ化された出土資料のコンテナ数を指標とする。	箱	1,500	800	/
	指標で表せない成果					
市内の埋蔵文化財発掘調査によって出土した資料の整理を行い、調査結果を公開することにより、市民に成果を還元し、郷土の歴史・文化財への理解を深め、次世代へ継承していくよう保護意識の啓発を目的とする。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
平成25年度限りで休廃止						
現状の課題・今後の事業展開方針等						
平成25年度限りで休廃止						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	生涯スポーツ支援事業	新規/継続	継続事業	整理番号	0130001500 - 001				
		分割/統合							
<b>関連予算科目</b>	会計	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	款	教育費		事業所管課	文化・スポーツ部スポーツ振興課				
	項	保健体育費		連絡先	(078)918-5624				
	目	保健体育総務費		自治/法定	自治事務	開始年度	不明		
	事業	生涯スポーツ支援事業		根拠法令・要綱等	スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	○	その他	
	2-3 スポーツの振興			委託		指定管理			
<b>個別計画</b>	スポーツ振興計画								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>							
	市民							
<b>事業内容</b>	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>							
	すべての市民が、健康で明るく豊かな社会生活を営むために、スポーツに親しむとともに、競技力の向上にも結びついていくよう幅広くスポーツ施策を推進する。							
<b>事業内容</b>	1 全国大会等に出場する選手等への激励金の支給。 ・全国中学校体育大会や全国高等学校総合体育大会等に出場する選手に対し激励金を支給する。 (H24年度から実施、H25年度には支給要綱の見直しを行った。) H24年度支給者数 1,592人 H25年度 786人							
	2 大蔵海岸での関西大学ビーチバレー男女選手権大会開催を支援。 ・全国的規模の大会を本市で開催し、スポーツへの関心を高める。 (H24年度、H25年度、H26年度とも2日間開催した。) H24年度 参加者150名 H25年度 参加者166名 H26年度 参加者152名							
	3 明石市スポーツ賞表彰の開催 ・本市のスポーツの振興に功績のあった方や優秀な成績を収めた選手等を表彰する。 表彰人数 H24年度 199人 H25年度 107人 H26年度表彰者については今後決定							
	4 企業グラウンドの借り上げ ・市民のスポーツの活動場所を確保するため、グラウンドを保有する企業からグラウンドを借り、市内の希望する少年野球チームなどに貸し出す。 (企業がグラウンドを使用しない土、日、祝日が対象)							
	5 明石市スポーツ振興基金の積立 ・本市のスポーツ推進にかかる施策を将来にわたって安定的かつ計画的に推進していくことを目的として、基金を積み立てる。(H24年度開始。) H24年度積立額 10,033千円 H25年度積立額 10,026千円 H26年度予算額 10,100円							

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	12,460	11,640	24,100	0	0	33	24,067	正規	1.30	パート	0.40
25当初予算	18,150	12,940	31,090	0	0	100	30,990	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	13,739	12,940	26,679	0	0	26	26,653	任期付	0.00	合計	1.70
26当初予算	16,118	11,380	27,498	0	0	100	27,398				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	文化・スポーツ振興激励金ほか	2,063		報償費	文化・スポーツ振興激励金ほか	4,228
需用費	スポーツ賞表彰に係るメダル、消耗品、印刷製本費等	795	需用費	スポーツ賞表彰に係るメダル、消耗品、印刷製本費等	808		
使用料及び賃借料	コピー使用料、駐車場定期代ほか	467	使用料及び賃借料	コピー使用料、駐車場定期代ほか	423		
負担金補助及び交付金	関西大学ビーチバレー大会運営補助	152	負担金補助及び交付金	関西大学ビーチバレー大会運営補助	150		
積立金	明石市スポーツ振興基金	10,026	積立金	明石市スポーツ振興基金	10,100		
その他	備品購入費、傷害保険料、視察等旅費ほか	236	その他	ニュースポーツ道具等備品、企業グラウンド借上げにかかる傷害保険料ほか	409		
<b>合計</b>			13,739	<b>合計</b>			16,118

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-001	事務事業名	生涯スポーツ支援事業
------	----------------	-------	------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み	
	<b>指標で表せない成果</b>						
<p>全国大会等に出場する選手への激励金の支給やスポーツ賞表彰などの事業は、選手にとって励みとなっており、競技スポーツの振興につながっている。</p> <p>また、企業グラウンドの借り上げなど、スポーツ活動の場を増やすことにつながっている</p>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<p>生涯スポーツ支援事業の業務として、全国大会等に出場する選手への激励金の支給やスポーツ賞表彰などを実施している。特にこれらの事業は、選手にとって目標であり励みとなっており、競技スポーツの推進を図るため今後も継続して実施しなければならない。</p> <p>「明石市スポーツ振興計画」に基づき、施策の展開を図っているところであるが、各事業の趣旨などを改めて精査した結果スポーツ賞表彰式に併せて実施している「スポーツ指導者研修会(講演会)」などの行事を廃止し歳出削減に努めた。今後もスポーツ振興事業全体として歳出予算の抑制に努める。</p>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	生涯スポーツ推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001500 - 002				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	教育費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部スポーツ振興課				
	<b>項</b>	保健体育費		<b>連絡先</b>	(078)918-5624				
	<b>目</b>	保健体育総務費		<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	不明		
	<b>事業</b>	生涯スポーツ推進事業		<b>根拠法令・要綱等</b>	スポーツ基本法 スポーツ基本計画				
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野		<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成		その他	
	2-3 スポーツの振興			委託	○	指定管理			
<b>個別計画</b>	スポーツ振興計画								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	自らの健康・体力の維持増進を図れるよう、スポーツをする機会等を提供し、生涯スポーツの推進を図る。特に子ども向けの体力向上・競技力向上のイベントを開催する。

<b>事業内容</b>	1 市民ショートテニス大会開催(年1回) ・スポーツ推進委員と連携し、ショートテニス大会を開催する。同大会を通して他の地域で活動している方との交流を図るとともに、スポーツをするきっかけづくりを目的とする。
	2 ウォーキング 毎月1回実施(年12回) ・ウォーキング協会への委託事業として実施する。市民が手軽に参加できるウォーキングイベントとして定着している。
	3 ジュニア自転車競技教室の開催(年6回) ・兵庫県自転車競技連盟への委託事業として実施する。学童期から自転車競技への興味をもってもらふことと、正しい自転車の乗り方や態度を学ぶ。
	4 親子でサイクルスポーツの開催(年1回) ・兵庫県自転車競技連盟への委託事業として実施する。変わり種自転車の乗車や普段は乗ることのできない自転車競技場を走行するなど、親子で自転車に楽しむ機会を提供する。
	5 明石市スポーツフェスティバルの開催(年1回) ・子どもが、体を動かすことの楽しさや喜びを知ってもらうために豊富な競技経験や指導経験を持つアスリートとの交流を通じて、様々なスポーツを楽しんでもらうイベントを開催する。
	6 明石市総合体育大会・スポーツ大会開催 ・明石市体育協会への委託として明石市総合体育大会と各種目大会を開催
	7 スポーツ教室開催 ・明石市体育協会加盟団体による市民向けのスポーツ教室をコミセンなどで開催 開催種目及び教室数 H24年度 16種目43教室 H25年度 15種目42教室を開催。
	8 ヴィッセル神戸との連携
	9 「集まれ！野球っ子」の開催
	10 大蔵海岸多目的グラウンドオープニングイベントの開催(新規) ・親子サッカー教室、グラウンドゴルフ大会などを実施する予定。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	14,669	11,640	26,309	0	0	41	26,268	正規	1.40	パート	0.30
25当初予算	11,564	12,950	24,514	0	0	40	24,474	再任用	0.00	その他	0.00
25決算	8,364	12,950	21,314	0	0	0	21,314	任期付	0.00	合計	1.70
26当初予算	12,317	12,020	24,337	0	0	120	24,217				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	看護師謝礼ほか	689		235		
需用費	各種大会等開催に係る消耗品ほか	121	804				
委託料	ウォーキングやサッカー、サイクルスポーツ推進行事開催委託	6,530	10,342				
役務費	安全保険料	23	100				
使用料及び賃借料	スポーツ大会に係る会場使用料等	1,001	836				
<b>合計</b>			8,364	<b>合計</b>			12,317

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-002	事務事業名	生涯スポーツ推進事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	明石市総合体育大会等の参加者数	スポーツをする人の底辺の拡大につながることで、スポーツの振興が図られる。	人	42,394	39,755	40,000
	<b>指標で表せない成果</b>					
	大会や教室に市民が参加することで、健康体力の保持増進が図られるとともに、スポーツをする人のすそ野の拡大や、ひいては競技力の向上につながっている。					

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
	<p>生涯スポーツ推進事業は、子どもから高齢者まで全ての市民を対象とし、スポーツをする機会を提供することにより健康・体力の維持増進に努めながらスポーツをする人のすそ野の拡大を図ること。また、一方で各種大会等を開催して本市の競技レベルの向上を図ることを目的としている。特に、子どもの体力が低下傾向にある現状において、スポーツや運動をする楽しさを体験できるイベントを開催することにより、スポーツや運動を継続して行う習慣づくりのきっかけを提供しなければならない。</p> <p>「明石市スポーツ振興計画」に基づき、施策の展開を図っているところであるが、市が事業に関わる意義や、各事業の趣旨などを改めて精査した結果、平成26年度はウォーキング推進行事にかかる委託料について減額するなど歳出削減に努めた。今後も受益者負担を考え、財源の確保を図るとともに、スポーツ振興関連事業全体として歳出予算の抑制に努める。</p>					

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	スポーツ推進委員活動事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130001500 - 003			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	教育費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部スポーツ振興課			
	<b>項</b>	保健体育費			<b>連絡先</b>	(078)918-5624		
	<b>目</b>	保健体育総務費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 37 年度
	<b>事業</b>	スポーツ推進委員活動事業			<b>根拠法令・要綱等</b> スポーツ基本法 スポーツ基本計画			
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野		<b>実施方法</b>	直営				
	2-3 スポーツの振興			委託		指定管理		
<b>個別計画</b>	スポーツ振興計画							

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	スポーツ基本法第32条に基づき設置されたスポーツ推進委員
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	本市におけるスポーツ活動の推進を目的として、スポーツ推進委員が市民に対し、スポーツの実技指導をはじめ、その他のスポーツに関する指導及び助言、さらには地域と行政とのコーディネーターとしての活動ができるように支援するとともに、資質の向上に努めてもらうことにより地域でのスポーツ活動の推進を図る。
<b>事業内容</b>	1 スポーツ推進委員 委嘱人数 H24 31名、H25 31名、H26 29名 報酬月額 6,400円 ・地域でのスポーツ振興のための活動として、実技の指導や自主的なスポーツ教室などを行うほか、本市が行うスポーツイベントの支援も行っている。 ・明石市スポーツ推進委員全体会を開催（H25年度 4回 ⇒ H26年度 6回） ・より専門的・効果的な活動を行うため、スポーツ推進委員会の中に3つの専門部会を設置している。 ・現在、ショートテニスの普及に力を注いでおり、今年度はショートテニス協会の設立に向け準備を進めていっている。 また、各担当地域（小学校区）において教室等も開催する。	
	2 スポーツ推進委員の資質向上のため、各種研修会等に参加 ・東、北播磨地区スポーツ推進委員研修会 ・兵庫県スポーツ推進委員中央研究協議会 ・生涯スポーツ指導者地区別研修会（東・北播磨地区）等	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置（人）			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	3,064	6,780	9,844	0	0	0	9,844				
25当初予算	2,892	9,910	12,802	0	0	0	12,802	正規	1.30	ｱﾙﾊﾞｲﾄ	0.30
25決算	2,815	9,910	12,725	0	0	0	12,725	再任用	0.00	その他	0.00
26当初予算	2,851	11,200	14,051	0	0	0	14,051	任期付	0.00	合計	1.60

  

25年度決算事業費明細	区分（節）	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分（節）	内容	金額
	報酬	スポーツ推進委員報酬	2,381		報酬	スポーツ推進委員報酬	2,381
旅費	スポーツ推進委員旅費	149	旅費	スポーツ推進委員旅費	200		
需用費	広報紙印刷製本費等	110	需用費	広報紙印刷製本費等	102		
役務費	スポーツ安全保険料	57	役務費	スポーツ安全保険料	58		
使用料及び賃借料	全体会会場使用料	13	使用料及び賃借料	全体会会場使用料	10		
負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員連絡協議会分担金等	105	負担金補助及び交付金	スポーツ推進委員連絡協議会分担金等	100		
<b>合計</b>			<b>2,815</b>	<b>合計</b>			<b>2,851</b>

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130001500-003	事務事業名	スポーツ推進委員活動事業
------	----------------	-------	--------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	<b>指標で表せない成果</b>					
スポーツ推進委員が、各地域(小学校区)で取り組んでいるニュースポーツ教室などを通して指導助言を行うことで地域スポーツの推進が図られている。						

事業の評価・今後の方向性	<b>観点 (満たしていない観点到「×」)</b>					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
国における「スポーツ基本法」「スポーツ基本計画」や本市における「明石市スポーツ振興計画」において、スポーツ推進委員は重要な位置づけであることから、今後もその活動を支援していくこととする。						

# 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	コミセン管理運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130101000 - 001			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費						
	<b>項</b>	総務管理費						
	<b>目</b>	コミュニティ費						
	<b>事業</b>	コミセン管理運営事業						
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター				
	2-5 生涯学習の推進			<b>連絡先</b>	(078)918-5600			
<b>個別計画</b>	生涯学習ビジョン		<b>自治/法定</b>		自治事務		<b>開始年度</b>	昭和 47 年度
				<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立コミュニティ・センター条例、同施行規則			
		<b>実施方法</b>	直営		○	補助・助成		その他
			委託	○	指定管理			

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>						
	地域住民、コミセン利用者 14コミセン(16施設)						
<b>事業内容</b>	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>						
	生涯学習活動に重点を置いた拠点施設として管理運営を行う。						

<b>事業内容</b>	<平成24年度・平成25年度>						
	① 施設の維持管理運営 ② 学習活動の支援 ・登録サークルに活動場所を提供する等の学習支援を行った ③ 生涯学習、地域活動等の場の提供 ④ 生涯学習機会の提供 ・高齢者大学、市民講座等の実施(生涯学習推進事業の委託料による) ※ (コミセン利用件数(延べ)) 平成24年度 26,872 件 平成25年度 30,508件 (コミセン利用人数(延べ)) 平成24年度 442,571 人 平成25年度 510,744人						
<b>事業内容</b>	<平成26年度>						
	① 施設の維持管理運営 ② 学習活動の支援 ③ 生涯学習、地域活動等の場の提供 ④ 生涯学習機会の提供 ・高齢者大学、市民講座等の実施(生涯学習推進事業の委託料による) ※ (コミセン利用件数(延べ)) 平成26年度見込み 30,000件 (コミセン利用人数(延べ)) 平成26年度見込み 480,000人						

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	25,173	81,340	106,513	0	0	4,278	102,235	正規	1.10	パート	0.00
25当初予算	30,623	81,230	111,853	0	0	4,080	107,773	再任用	6.00	その他	56.00
25決算	25,916	81,230	107,146	0	0	4,963	102,183	任期付	0.50	合計	63.60
26当初予算	30,257	81,120	111,377	0	0	4,375	107,002				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	旅費	コミセン所長・職員近接地旅費	224		224	旅費	コミセン所長・職員近接地旅費
需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等	13,946	13,946	需用費	光熱水費、修繕料、消耗品費等	17,494	
役務費	コミセン電話料金等	1,047	1,047	役務費	コミセン電話料金等	1,091	
委託料	コミセン運営業務委託(14コミセン)等	7,311	7,311	委託料	コミセン運営業務委託(14コミセン)等	7,560	
使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等	3,332	3,332	使用料及び賃借料	コピー機使用料、リソグラフ賃借料等	3,736	
負担金補助及び交付金	共益費、講習負担金	56	56	その他	報償費、負担金補助金及び交付金	116	
<b>合計</b>			25,916	<b>合計</b>			30,257

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-001	事務事業名	コミセン管理運営事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	コミセン利用件数 (延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した件数を成果指標とする。	件	26,872	30,508	30,000
	コミセン利用人数 (延べ)	生涯学習活動の拠点施設であるコミセンを利用した人数を成果指標とする。	人	442,571	510,744	480,000
<b>指標で表せない成果</b>						
身近な場所に気軽に集まることのできる拠点があることにより、生涯学習活動を身近に取り入れる環境が構築されている。						

	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
事業の評価・今後の方向性					×	
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区コミセンは、①学習機会の提供、②学習活動の場、③地域活動の拠点としての役割が地域住民に定着し機能しているものの、経年劣化等により施設・設備の維持管理経費の増高が見込まれる。</li> <li>・今後、公平性の観点から受益者負担の原則に立ち返り、登録団体から使用料を徴収し、その使用料収入を施設・設備の維持管理経費に充当するなどの見直しを検討する。あわせて、コミセン登録要項の見直しを検討する。</li> </ul>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	コミセン施設整備事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130101000 - 002				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>						
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター				
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5600			
	<b>目</b>	コミュニティ費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	昭和 47 年度	
	<b>事業</b>	コミセン施設整備事業							
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立コミュニティ・センター条例、同施行規則					
<b>個別計画</b>	生涯学習ビジョン			<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
					委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	14中学校区コミセン(16施設)
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	生涯学習活動の拠点施設として十分機能するよう、老朽化対応や耐震化など安全面や機能向上を目指し、施設・設備を整備する。

<b>事業内容</b>	<b>&lt;平成24年度&gt;</b>	・二見コミセントイレ改修工事、高丘中央集会所高圧受変電装置新設工事 ・空調機更新、空調機修理、照明器具取替等の施設・設備の整備
	<b>&lt;平成25年度&gt;</b>	・空調機更新、湯沸かし器更新、誘導灯ランプ交換等の施設・設備の整備
	<b>&lt;平成26年度&gt;</b>	・江井島コミセン講堂床 床面長尺シート全面張替 ・空調機更新等の施設・設備の整備

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	38,815	36,380	75,195	0	28,700	0	46,495	正規	0.80	パート	0.00
25当初予算	2,962	36,980	39,942	0	0	0	39,942	再任用	6.20	その他	10.00
25決算	2,672	36,980	39,652	0	0	0	39,652	任期付	0.10	合計	17.10
26当初予算	7,441	36,900	44,341	0	4,900	0	39,441				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費			49	役員費	耐震に伴う電話回線移設費用
役員費	コミセン事務室移設に伴う引越し費用など		159	工事請負費	江井島講堂床面等改修工事		4,900
備品購入費	空調機更新等		2,464	備品購入費	空調機更新等		2,518
	<b>合計</b>		2,672		<b>合計</b>		7,441

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-002	事務事業名	コミセン施設整備事業
------	----------------	-------	------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	耐震診断、耐震改修した建物数の割合	昭和56年以前に建築されたコミセンで耐震診断、耐震改修したコミセン施設数を安全面の向上を図った成果指標とする。	完了施設数/対象施設数	3/5	3/5	3/5
	<b>指標で表せない成果</b>					
コミセン利用者に最も求められているものは、安全で快適に施設を利用できることであり、安全面の向上と機能充実を図ることで、利用者の満足度は向上している。						

	観点（満たしていない観点到「×」）				
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性
事業の評価・今後の方向性	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>				
	・中学校区コミセンは、①学習機会の提供、②学習活動の場、③地域活動の拠点としての役割が地域住民に定着し機能しているものの、経年劣化等により施設・設備の維持管理経費の増高が見込まれる。 ・今後、利用者の安全性の確保や利用者サービスの維持を図るため適宜、施設・設備の修繕、更新を行うとともに、耐震化未実施施設について耐震化を検討する。				

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	生涯学習センター運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130101000 - 003				
		<b>分割/統合</b>							
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>	<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター				
	<b>款</b>	総務費			<b>連絡先</b>	(078)918-5600			
	<b>項</b>	総務管理費				<b>自治/法定</b>	自治事務	<b>開始年度</b>	平成 14 年度
	<b>目</b>	生涯学習センター費					<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市生涯学習センター条例、同施行規則	
	<b>事業</b>	生涯学習センター運営事業						<b>実施方法</b>	直営
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		委託	<input type="radio"/>		指定管理			
<b>個別計画</b>	生涯学習ビジョン								

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	生涯学習センター（男女共同参画センター・消費者センター・子育てプレイルーム・子ども図書館除く）
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	多くの市民が生涯学習に取り組み、市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、使いやすい貸し館運営を行い、提供するサービスを充実させる。

<b>事業内容</b>	<b>&lt;平成24年度&gt;</b>	
	① 学習センター貸し館運営	・学習室1(120人)、2(81人)、3(45人)、4(12人)、パソコン室(25人)、調理実習室(25人)、工芸室(25人)、茶室和室(29人)、ホール(293人)、リハースタジオ(20人)、音楽練習室1,2(12人)の貸し館を行った。 ・件数 7,471件、平均利用率 72.8%、利用者数 107,984人 ・定期的利用者向け貸しロッカーを設置し、利用者サービスの向上を図った。
	② センターHPリニューアル	・市民が学習活動を行う場や学習機会の情報をより効果的に提供するため、センターHPのリニューアルを行う。
	③ 学習情報の提供	・学習情報誌「わらしのわ」を発行した(年4回、3500部)。 ・生涯学習センターホームページにて貸し館の状況や企画事業の情報提供を行った。 ・学習情報コーナーにて、書籍・DVD・インターネットの閲覧サービスを行った。
	<b>&lt;平成25年度&gt; ※下記変更以外は平成24年度とほぼ同じ。</b>	
	① 学習センター貸し館運営	・利用件数 7,351件、平均利用率 72.2%、利用者数 105,716人 ・調理実習室運用の見直しやリハースタジオに鏡を設置するなど、利用者サービスの向上を図った。
	② 学習情報の提供	
	<b>&lt;平成26年度&gt; ※下記変更以外は例年とほぼ同じ。</b>	
	① 学習センター貸し館運営	
	② 学習情報の提供	

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	14,204	24,390	38,594	0	0	14,204	24,390	正規	1.40	パート	2.10
25当初予算	11,732	21,480	33,212	0	0	11,532	21,680	再任用	0.30	その他	0.00
25決算	10,899	21,480	32,379	0	0	10,900	21,479	任期付	1.50	合計	5.30
26当初予算	11,134	20,180	31,314	0	0	10,804	20,510				

区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
需用費	消耗品費(事務用品等)、舞台用電球・学習情報誌・パンフレット等	3,548	25年度決算事業費明細	需用費	消耗品費(事務用品等)、舞台用電球・学習情報誌・パンフレット等	2,542
役務費	ホール用人件費・ピアノ調律代 学習室5インターネット回線費	177		役務費	ホール用人件費・ピアノ調律代 学習室5インターネット回線費	374
委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール調光保守・パソコン室機器保守等	6,264		委託料	舞台操作・舞台吊物・ホール調光保守・パソコン室機器保守等	6,692
使用料及び賃借料	公用車駐車場借り上げ料、コピー使用料	518		使用料及び賃借料	公用車駐車場借り上げ料、コピー使用料	1,021
その他	旅費、備品購入費等	392		その他	旅費、備品購入費等	505
<b>合計</b>		<b>10,899</b>		<b>合計</b>		<b>11,134</b>

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-003	事務事業名	生涯学習センター運営事業
------	----------------	-------	--------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)	%	54	53	54
	利用者数	貸し館の年間利用者数	人	107,984	105,716	108,000
<b>指標で表せない成果</b>						
センターの利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
・施設利用者のサービス向上に努め、施設の更なる利用促進を図る。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	分室運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130101000 - 004			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5600		
	<b>目</b>	生涯学習センター費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	平成 14 年度
	<b>事業</b>	生涯学習センター運営事業						
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進		<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市生涯学習センター条例、同施行規則				
<b>個別計画</b>	生涯学習ビジョン			<b>実施方法</b>	直営	○	補助・助成	その他
					委託		指定管理	

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	生涯学習センター分室
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	分室において多くの市民が生涯学習に取り組み市民による学習活動、文化活動、市民活動などが活発に行われるよう、施設設備の状態を良好に保ち、使いやすい貸し館運営を行う。

<b>事業内容</b>	<平成24年度>
	① 貸し館運営 ・大会議室(250人)、和室(50人)、実習室(30人)、研修室(35人)、視聴覚室(35人)、小会議室(20人)の貸し館運営を行った。 ② 学習活動の支援 ・登録サークルに活動場所を提供するなどの学習支援を行った。 ※①、②を合わせた利用件数等 延件数3,587件、延人数59,698人 ③ 修繕 ・学習室B及び和室の流し台漏水修繕・排水不良修理 ・遮音壁修繕 ほか
	<平成25年度>
<b>事業内容</b>	① 貸し館運営 ② 学習活動の支援 ※①、②を合わせた利用件数等 延件数3,471件、延人数57,917人 ③ 修繕 ・事務室ドアロック取替・和室戸車交換 ・リソグラフ修理・ADSL配線工事 ほか
	<平成26年度>
	① 貸し館運営 ② 学習活動の支援 ③ 修繕

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	991	7,495	8,486	0	0	1,026	7,460	正規	0.40	パート	0.00
25当初予算	1,305	7,845	9,150	0	0	1,263	7,887	再任用	0.10	その他	5.00
25決算	799	7,845	8,644	0	0	799	7,845	任期付	0.00	合計	5.50
26当初予算	794	8,020	8,814	0	0	794	8,020				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	消耗品費(事務用品等)、修繕料	503		需用費	消耗品費(事務用品等)、修繕料	368
役務費	電信電話料・ピアノ調律代	174	役務費	電信電話料・ピアノ調律代	196		
使用料及び賃借料	コピー使用料	111	使用料及び賃借料	コピー使用料	130		
備品購入費	黒板拭きクリーナー	11	備品購入費	会議室机	100		
<b>合計</b>			799	<b>合計</b>			794

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-004	事務事業名	分室運営事業
------	----------------	-------	--------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	稼働率	貸し館の年間使用率 (年間使用数/年間使用可能数)	%	61	59	61
	利用者数	貸し館の年間利用者数	人	59,698	57,917	60,000
<b>指標で表せない成果</b>						
分室の利用による学習活動や文化活動等を通じ市民の学習意欲(機会)の高まりや市民間の繋がりの醸成に貢献している。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する 必要性	有効性	金額の 妥当性	公平性	優先性・ 緊急性
				×		
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
市立図書館移転に伴う、跡地利用の協議の中で、分室を拠点とするシニアカレッジ、登録団体の活動場所等について検討する。						



## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-005	事務事業名	視聴覚ライブラリー運営事業
------	----------------	-------	---------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	貸出件数	教材(DVD、ビデオ等)の年間貸出件数	件	57	51	55
	指標で表せない成果					

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
	×		×		×	
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
	・教材等の貸出は、市内の学校等(小中学校・幼稚園・保育所・青少年教育課)がその大半を占めており、購入教材の選定は教育研究所に依頼している状況にある。今後の方向性としては、新規購入経費の縮小若しくは、事業の教育委員会への移管など、事業の在り方を検討する。					

## 平成26年度 事務事業点検シート

事務事業名		生涯学習センター維持管理事業		新規/継続	継続事業	整理番号	0130101000 - 006	
				分割/統合				
関連予算科目	会計	一般会計		事業の分割/統合の内容				
	款	総務費		事業所管課	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	項	総務管理費		連絡先	(078)918-5600			
	目	生涯学習センター費		自治/法定	自治事務	開始年度	平成 14 年度	
	事業	生涯学習センター維持管理事業		根拠法令・要綱等		生涯学習センター条例、同施行規則		
施策分野		2 教育・文化分野		実施方法	直営	○	補助・助成	その他
		2-5 生涯学習の推進			委託	○	指定管理	
個別計画		生涯学習ビジョン						

**対象（誰を・何を）**  
 生涯学習センターの施設・設備（アスパア明石北館の7階～10階部分、6209㎡。男女共同参画センター・消費者センター・子育てプレイルーム：子ども図書館含む）

**意図（どういう状態にしたいのか）**  
 市民がセンターを安全・快適に利用できるよう、また、職員が効率的に執務できるよう、センターの施設・設備の状態を良好に保つ。

**事業内容**

<平成24年度>  
 ① 保守・点検  
 ・中央監視盤、AVシステム、空調装置について、年1回の保守点検を実施した。  
 ・給水式冷温機(冷房)について、年2回の保守点検を実施した。  
 ・電話交換機、エアコン空調機について、月1回の保守点検を実施した。  
 ② 修理・修繕  
 ・外壁看板修理、監視カメラ修繕、空調機フィルター交換、空調インバーター圧縮機交換、電気温水器交換、ホール防音ドア修繕など16件  
 ③ インフラ設備維持  
 ・電気・ガス・水道・館内イントラ回線・電話回線の供給を行った。  
 ・建物(アスパア)共用部分等の維持管理費を負担した。  
 ④ 清掃・・・年1回の定期清掃と開館日の日常清掃を行った。  
 ⑤ 警備・・・開館日の夜間(16:30～22:30)の見回り警備と利用者案内を行った。  
 深夜(22:00～8:00)及び休館日の機械警備を行った。

<平成25年度> ※下記変更以外は平成24年度とほぼ同じ。  
 ① 修理・修繕  
 ・部屋鍵用磁気カードリーダー交換・修理、中央監視盤部品交換、空調機フィルター交換、空調冷却ファン交換、など28件

<平成26年度> ※下記変更以外は例年とほぼ同じ。  
 ① 修理・修繕  
 ・廊下・トイレ等設置ダウンライト更新(LED化)、その他館内設備機器修繕

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	78,146	9,400	87,546	0	0	11,782	75,764	正規	1.00	パート	0.00
25当初予算	86,658	9,660	96,318	0	0	12,862	83,456	再任用	0.40	その他	0.00
25決算	83,960	9,660	93,620	0	0	15,397	78,223	任期付	0.00	合計	1.40
26当初予算	86,927	9,560	96,487	0	0	15,764	80,723				

区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
役務費		0	役務費	冷却塔水質検査費	146	
委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	18,677	委託料	施設清掃・夜間警備・電話交換機等	21,444	
使用料及び賃借料	施設予約システムリース料・NHK・ケーブルTV利用料等	1,583	使用料及び賃借料	施設予約システムリース料・NHK・ケーブルTV利用料等	1,627	
備品購入費	脚付ホワイトボード・スポットエアコン	68	備品購入費	施設維持管理用備品一式・貸館用監視カメラ更新	170	
負担金補助及び交付金	アスパア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	57,679	負担金補助及び交付金	アスパア明石管理費・インフォメーション経費・電気・水道料・修繕負担金	58,970	
<b>合計</b>		83,960		<b>合計</b>		86,927

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-006	事務事業名	生涯学習センター維持管理事業
------	----------------	-------	----------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	修繕件数	施設設備を安全・快適に供用するため年間修繕件数を指標とする。	件	16	28	25
	事故件数	設備の不具合による年間事故件数	件	0	0	0
<b>指標で表せない成果</b>						
維持管理業務の一部を委託化することにより、業務の効率化(コストや職員の負担軽減)が図られている。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
平成13年の竣工以来10年以上が経過しているため、経年劣化により、施設・設備の各所に不備が生じている。このため、発生する諸問題に対処しながら、利用環境の水準を低下させることなく、「市民(利用者)がセンターを安全・快適に利用できる」よう施設・設備を維持していく。						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	生涯学習推進事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130101000 - 007			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部生涯学習室生涯学習センター			
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5600		
	<b>目</b>	生涯学習センター費		<b>自治/法定</b>		自治事務	<b>開始年度</b>	平成 14 年度
	<b>事業</b>	生涯学習推進事業						
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野 2-5 生涯学習の推進	<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市生涯学習センター条例、同施行規則					
<b>個別計画</b>	生涯学習ビジョン		<b>実施方法</b>	直営	<input type="radio"/>	補助・助成	<input type="checkbox"/>	その他
				委託	<input type="radio"/>	指定管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	市民
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	市民がいつでも、どこでも、多種多様な生涯学習に取り組むことができるようにし、さらに一人ひとりの市民が学んだことを地域に還元する。

<b>事業内容</b>	<平成24年度> ①講座・イベント等の実施(生涯学習センター、分室、中学校区コミセンで開催) 総受講者数約6,400名 あかし楽講座(歴史講座等)、ゆうゆう塾(市民企画講座)、スキルアップ社会人交流セミナー、ジュニアアカデミー(こどもあかし楽講座)、クッキングアカデミー、パフォーマンスアカデミー、シニアカレッジ、コミセン高齢者大学などを実施。 ・事業の見直しによる部分的な縮小…パソコン講座、市民セミナー、レコーディング講座を休止。 ②生涯学習相談…窓口、電話で市民に生涯学習情報を提供。年間相談件数80件程度。 ③生涯学習指導者の育成 ・生涯学習指導者会の研修を(年2回)、作品展を実施。 ④コミセンサークル活動への支援 ・明石コミセンサークル連絡協議会の活動支援
	<平成25年度>※下記変更以外は、平成24年度とほぼ同じ ①講座・イベント等の実施 ・事業の見直しによる部分的な縮小…パフォーマンスアカデミーを休止、ジュニアアカデミーをあかし楽講座に統合。 ・事業内容の見直し、刷新 市民カレッジゆうゆう塾をあかし市民企画 みんなの講座に刷新。講座終了後の講師活動を支援するため「カタログ」を作成・配布。 スキルアップ社会人交流セミナーをあかし“ジモとも”セミナーに刷新。OB会を発足し、セミナーでの繋がりを継続、地域活動に広げる。 あかし楽講座に子ども対象のこどもあかし楽講座を追加。次世代を担う子どもが明石の歴史、自然、文化等を知る機会を提供する。 クッキングアカデミーの内容見直し。明石産の食材(魚、野菜、果物)にこだわった料理教室を実施。
	<平成26年度予定>※下記変更以外は、平成25年度とほぼ同じ ①生涯学習指導者の育成 ・明石生涯学習指導者会の20周年行事(作品展、ステージ発表、講演会等を予定)を明石コミセンサークル連絡協議会などの協力のもとに実施。

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	14,082	43,620	57,702	0	0	695	57,007	正規	3.20	ｱﾊﾞｲﾄ	0.80
25当初予算	12,540	50,540	63,080	0	0	590	62,490				
25決算	10,530	50,540	61,070	0	0	670	60,400	再任用	4.00	その他	0.00
26当初予算	11,635	43,360	54,995	0	0	588	54,407	任期付	0.80	合計	8.80

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	講師等謝礼	1,040		2	報償費	講師等謝礼
需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	379	2	需用費	チラシ・冊子等印刷代、用紙代、記録用DVD、講師用お茶など	393	
役務費	保険料	9	2	役務費	保険料	22	
委託料	シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	9,086	2	委託料	シニアカレッジ、コミセン生涯学習事業委託料など	9,298	
負担金補助及び交付金	研修参加負担金	16	2	負担金補助及び交付金	研修参加負担金	16	
<b>合計</b>			10,530	<b>合計</b>			11,635

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130101000-007	事務事業名	生涯学習推進事業
------	----------------	-------	----------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	講座受講者数等	センター主催講座等の受講者数、シニアカレッジ、コミセン高齢者大学の入学者数を集計	人	6,402	4,511	6,000
	<b>指標で表せない成果</b>					
市民企画型講座では、市民が自分の特技・技能・知識を活かして何かをはじめるきっかけになるとともに、生涯学習を始める機会を提供している。また、シニアカレッジで学んだ市民が、コミセンで「出前講座」を行うなど、個々の学びを広げる活動を行っている。						

	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
事業の評価・今後の方向性					×	
	<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公平性の観点から受益者負担の原則に立ち返り、受益者負担(受講料の徴収)を検討する。</li> <li>・3つの高齢者学習機関(コミセン高齢者大学、明石シニアカレッジ、あかねが丘学園)について、利用者のニーズや施設の老朽化等の状況を踏まえ、あり方を検討する。</li> <li>・「市民一人ひとりの学びが、それぞれの人生を充実させ、さらには、学びにより力をつけた市民がボランティアやまちづくり等、地域で様々な活動を行い、明石のまちを元気にする。」という生涯学習推進のねらいを実現するために、「地元愛」を育む事業、「地域活動」・「社会参加」に繋がる事業、生涯学習を始めるきっかけとなる事業を厳選して実施する。</li> </ul>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	あかねが丘学園運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130102000 - 001						
		<b>分割/統合</b>									
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>								
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園						
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5415					
	<b>目</b>	あかねが丘学園費				<b>自治/法定</b>	<b>自治事務</b>	<b>開始年度</b>	昭和 56 年度		
	<b>事業</b>	あかねが丘学園運営事業					<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園要綱			
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野	<b>実施方法</b>	<b>直営</b>					<input type="radio"/>	<b>補助・助成</b>	<input type="checkbox"/>	<b>その他</b>
	2-5 生涯学習の推進		<b>委託</b>	<input type="checkbox"/>				<b>指定管理</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>	生涯学習ビジョン										

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	明石市在住の60歳以上の人
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者を養成できるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。

<b>事業内容</b>	あかねが丘学園は、3年間の系統立てた学習プログラムをもとに、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につけた地域社会活動指導者を養成する。	
	<b>【平成24年度】</b>	<p>①本校 コース: 景観園芸・生活ふくし・ふるさとコミュニティ・音楽交流・健康スポーツ交流(各学年定員165人)                  学生数: 283人(1学年89人、2学年109人、3学年85人)                  学習日: 月曜 クラブ活動、火曜 地域活動支援、水曜 3学年、木曜 2学年、金曜 1学年</p> <p>②地域活動支援日は、卒業生と在校生の地域活動を支援するための学習日で、公開講座、各種講習・講座などの実施と地域活動グループへの施設設備の開放と、相談・助言を行なっている。                  ・その他、学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。</p> <p>③学習スケジュール: 授業は週1回、年間35日程度、午前: 共通講座(学年全体で受講)、午後: 専攻コース(各専攻コースで受講)                  主な年間スケジュール: 4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2~3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式</p> <p>④地域活動グループ数: 80、地域活動実施回数: 851回</p>
	<b>【平成25年度】</b>	・事業内容は、平成24年度と同様に実施した。 学生数: 300人(1学年124人、2学年78、3学年98人)
	<b>【平成26年度】</b>	・事業内容は、1学年の学習拠点を生涯学習センターに移し、同学年の専攻コースを5コースから4コースに再編して以下のとおり実施する。 コース: 2・3学年は、24・25年度と同様。 1学年は、景観園芸・健康ライフ・ふるさとコミュニティ・音楽交流(学年定員100人) 学習日: 月曜 1学年・地域活動支援、火曜 クラブ活動、水曜 3学年、木曜 2学年 学生数: 297人(1学年109人、2学年113人、3学年75人)

事業のコスト (単位: 千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置 (人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	21,827	10,650	32,477	0	0	4,657	27,820	正規	0.50	パート	0.00
25当初予算	22,751	11,330	34,081	0	0	5,316	28,765	再任用	0.80	その他	1.40
25決算	18,758	11,330	30,088	0	0	0	30,088	任期付	0.60	合計	3.30
26当初予算	23,256	14,000	37,256	0	0	5,244	32,012				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	8,644		26年度当初予算事業費明細	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)
需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	2,343	需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	2,522		
役務費	通信運搬費、ピアノ調律料	158	役務費	通信運搬費、ピアノ調律料	202		
委託料	社会教育コーディネーター委託料	6,798	委託料	社会教育コーディネーター委託料	10,510		
備品購入費	共通講座室テーブル、デジタルカメラ、ICレコーダー	248	備品購入費	パソコン、キーボード等購入	800		
その他		567	その他		687		
<b>合計</b>			18,758	<b>合計</b>			23,256

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130102000-001	事務事業名	あかねが丘学園運営事業
------	----------------	-------	-------------

	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
事業の成果	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	89	124	109
	ボランティア実施状況	あかねが丘学園のボランティアグループのボランティア実施回数(西分校を含む)	回数	851	1,266	1,200
<b>指標で表せない成果</b>						
ボランティア活動の活動先は、高齢者施設、保育所、幼稚園、放課後児童クラブをはじめ市主催のイベント等多彩である。						

事業の評価・今後の方向性	観点 (満たしていない観点到「×」)					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×	×	×	
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・専攻コースの設定やカリキュラムの見直し等、市民のニーズに応える魅力ある運営をしていく。</li> <li>・積極的に行っている広報活動を継続発展させていく。</li> <li>・平成26年4月から新1学年の学習場所を生涯学習センターに移し、専攻コースを5コースから4コースに再編し学習カリキュラム等見直しをしている。</li> </ul>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	あかねが丘学園維持管理事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130102000 - 002								
		<b>分割/統合</b>											
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>										
	<b>款</b>	総務費		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園								
	<b>項</b>	総務管理費			<b>連絡先</b>	(078)918-5415							
	<b>目</b>	あかねが丘学園費				<b>自治/法定</b>	<b>自治事務</b>	<b>開始年度</b>	昭和 56 年度				
	<b>事業</b>	あかねが丘学園維持管理事業					<b>根拠法令・要綱等</b>	明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園要綱					
<b>施策分野</b>		2 教育・文化分野						<b>実施方法</b>	<b>直営</b>	<input type="radio"/>	<b>補助・助成</b>	<input type="checkbox"/>	<b>その他</b>
		2-5 生涯学習の推進		<b>委託</b>					<input type="checkbox"/>	<b>指定管理</b>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<b>個別計画</b>		生涯学習ビジョン											

<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>	あかねが丘学園の施設、設備								
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園の運営を円滑に行ない、学生が学習等で学園を安全・快適に使用できるように維持管理する。</li> <li>・市民が学園を安全・快適に利用できるよう、また職員が効果的に執務できるよう学園施設・設備の状態を良好に保つ。</li> </ul>								

<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①施設・設備の保守・点検・修理</li> <li>②電気・水道・ガス施設点検、樹木剪定</li> <li>③清掃 高架水槽定期清掃、屋内・屋外清掃委託</li> <li>④警備 機械警備委託</li> </ul>									

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)			
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源				
24決算	9,241	8,590	17,831	0	0	0	17,831	<b>正規</b>	0.30	<b>パート</b>	0.00
25当初予算	10,965	8,450	19,415	0	0	0	19,415	<b>再任用</b>	0.10	<b>その他</b>	0.70
25決算	10,787	8,450	19,237	0	0	0	19,237	<b>任期付</b>	1.20	<b>合計</b>	2.30
26当初予算	11,171	8,760	19,931	0	0	0	19,931				

25年度決算事業費明細	区分(節)	内容	金額	26年度当初予算事業費明細	区分(節)	内容	金額
	需用費	施設設備補修費、光熱水費(電気料金、ガス料金、水道料金)	8,174		26年度	需用費	施設設備補修費、光熱水費(電気料金、ガス料金、水道料金)
役務費	簡易専用水道検査手数料	16	26年度	役務費	簡易専用水道検査手数料	19	
委託料	設備関係保守点検費用	2,591	26年度	委託料	設備関係保守点検費用	2,682	
負担金補助及び交付金	防火管理者講習	6	26年度	負担金補助及び交付金	特別管理産業廃棄物管理責任者講習	20	
<b>合計</b>			10,787	<b>合計</b>			11,171

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130102000-002	事務事業名	あかねが丘学園維持管理事業
------	----------------	-------	---------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み	
<b>指標で表せない成果</b>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・日常及び定期など計画的な点検等で不具合が見つかった場合や修繕箇所が発生した場合、できるだけ速やかに対応するようにしている。</li> </ul>							

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点に「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
現状の課題・今後の事業展開方針等						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・あかねが丘学園は明石市第5次長期総合計画及び生涯学習ビジョン、生涯学習推進プランにも基づいて事業を実施している施設で、その維持管理については市が主体となって実施する必要がある。</li> <li>・学園を運営する上で、施設・設備を快適に使用できるよう維持管理することは不可欠である。</li> <li>・施設の老朽化は否めないが、施設・設備を適宜補修しているので概ね良好に維持されている。</li> <li>・日常の清掃(教室、廊下、剪定、草刈、グラウンド整備など)は学生が実施するなど経費の節減に努めている。</li> <li>・今後も施設・設備の補修については、不具合箇所の早期発見・早期補修が経費の削減につながるので迅速な対応に努める。</li> </ul>						

## 平成26年度 事務事業点検シート

<b>事務事業名</b>	あかねが丘学園西分校運営事業	<b>新規/継続</b>	継続事業	<b>整理番号</b>	0130102000 - 003			
		<b>分割/統合</b>						
<b>関連予算科目</b>	<b>会計</b>	一般会計	<b>事業の分割/統合の内容</b>					
	<b>款</b>	総務費						
	<b>項</b>	総務管理費						
	<b>目</b>	あかねが丘学園費						
	<b>事業</b>	あかねが丘学園西分校運営事業						
<b>施策分野</b>	2 教育・文化分野		<b>事業所管課</b>	文化・スポーツ部生涯学習室市立高齢者大学校あかねが丘学園				
	2-5 生涯学習の推進			<b>連絡先</b>	(078)918-5415			
<b>個別計画</b>	生涯学習ビジョン		<b>自治/法定</b>		自治事務		<b>開始年度</b>	平成 21 年度
				<b>根拠法令・要綱等</b>				明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園条例施行規則・明石市立高齢者大学校あかねが丘学園要綱
<b>実施方法</b>			<b>直営</b>		○	<b>補助・助成</b>		<b>その他</b>
				<b>委託</b>			<b>指定管理</b>	
<b>事業の目的</b>	<b>対象（誰を・何を）</b>							
	明石市在住の60歳以上の人							
	<b>意図（どういう状態にしたいのか）</b>							
高齢者に教養の向上及び生きがいの創造を図るとともに地域社会活動の指導者を養成できるよう、良質な学習機会及び環境を整備する。								
<b>事業内容</b>	あかねが丘学園西分校は、2年間の系統立てた学習プログラムをもとに、地域活動の企画力やコーディネーションなどコミュニティづくりに必要な専門性と実践力を身につけた地域社会活動指導者を養成する。							
	【平成24年度】							
	①分校 コース：健康科学・陶芸文化(各学年定員51人) 学生数：71人(1学年43人、2学年28人) 学習日：火曜 1学年、金曜 2学年 ②学生自治会、ボランティア会、委員会、クラブ活動、自主学習・自主活動グループなど活動している。 ③学習スケジュール：授業は週1回、年間35日程度、午前：共通講座(学年全体で受講)、午後：専攻コース(各専攻コースで受講) 主な年間スケジュール：4月入学式・始業式、10月体育祭、11月学園祭、2～3月次年度学生募集、3月卒業式・修了式							
【平成25年度】								
・事業内容は、平成24年度と同様に実施した。 学生数：64人(1学年27人、2学年37人)								
【平成26年度】								
・事業内容は、1学年の学習日を火曜から水曜に変更し、それ以外は24・25年度と同様に実施する。 学生数：45人(1学年25人、2学年20人)								

事業のコスト (単位：千円)	事業費	人件費 (参考値)	総事業費 (参考値)	財源内訳				26年度人員配置(人)									
				国・県支出金	地方債	その他特定財源	一般財源										
24決算	14,664	6,260	20,924	0	0	1,065	19,859	<b>25年度決算事業費明細</b>	<b>26年度当初予算事業費明細</b>	<b>26年度当初予算事業費明細</b>	<b>26年度当初予算事業費明細</b>	<b>26年度当初予算事業費明細</b>	<b>26年度当初予算事業費明細</b>				
25当初予算	16,250	5,220	21,470	0	0	1,080	20,390							正規	0.20	パート	0.00
25決算	13,993	5,220	19,213	0	0	0	19,213							再任用	0.10	その他	0.90
26当初予算	9,157	5,540	14,697	0	0	1,200	13,497							任期付	0.20	合計	1.40
<b>25年度決算事業費明細</b>	<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>					<b>区分(節)</b>	<b>内容</b>	<b>金額</b>							
	報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	3,210					報償費	講師謝礼(共通講座、専攻コース)	3,222							
	旅費	市内出張旅費	96					旅費	市内出張旅費	150							
	需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	496					需用費	事務用品費、印刷製本費、光熱水費	745							
	役務費	通信運搬費	64					役務費	通信運搬費	80							
	委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室、社会教育コーディネーター委	3,761					委託料	清掃・警備業務及び市民陶芸教室、社会教育コーディネーター委	3,850							
	使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	6,366					使用料及び賃借料	みなと記念ホール使用料等	1,110							
<b>合計</b>			13,993					<b>合計</b>			9,157						

## 平成26年度 事務事業点検シート

整理番号	0130102000-003	事務事業名	あかねが丘学園西分校運営事業
------	----------------	-------	----------------

事業の成果	指標名	考え方・定義・式	単位	24年度	25年度	26年度見込み
	入学者数	各年度の1学年の入学者数	人数	43	27	
	<b>指標で表せない成果</b>					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校が市東部にあるため、西部地区の市民ニーズに対応している。</li> <li>・地域により密着したボランティア活動を展開している。</li> </ul>						

事業の評価・今後の方向性	観点（満たしていない観点到「×」）					
	不可欠性	市が実施する必要性	有効性	金額の妥当性	公平性	優先性・緊急性
			×	×	×	
<b>現状の課題・今後の事業展開方針等</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入学者数は、定員に満たないため学生の募集については、学園情報の継続的な発信や公開講座・オープンキャンパスの開催など積極的なPRを展開していくと共に、今後コースの名称変更やカリキュラムの見直し等を図る。</li> </ul>						